

解題—「西郷竹彦講演を主に記録したノートにおける整理表」について—

キーワード：西郷文芸学 文芸研

広島大学大学院院生，東雲小学校 高橋 菜由

1. はじめに

「西郷竹彦講演を主に記録したノート（以下、「記録ノート」と略して示す）」は、西郷竹彦が文芸研所属メンバーに対して行った西郷文芸学の講義や講演の内容を、文芸研に所属している山中吾郎が聴講し、自ら記録したものである。その「記録ノート」の内容を項目ごとに山中自身が整理したものが、ここで提示する「西郷竹彦講演を主に記録したノートにおける整理表（以下、「整理表」と略して示す）」である（最終更新年月は、2017年6月）。

西郷竹彦が提唱する西郷文芸学は、様々な変遷を経て体系化されてきた。山中が記録した「記録ノート」には、その変遷が書かれてある。特に、理論や方法が変わっていく過度期の様子がこの「記録ノート」から見て取ることができる。今後「記録ノート」を分析考察することで西郷文芸学の変遷の過程をより詳細に捉えることができると考えられる。そのための準備として本稿は、「整理表」を提示し、その解題を行い、今後の西郷文芸学における変遷の究明へとつなげていきたい。

2. 「整理表」の概要

「整理表」の項目は1033あり、各項目に、「ノート」「年」「会」「テキスト」「テキスト（よみ）」「作者」「内容（大）」「内容（小）」と、記載されている。

「ノート」とは「記録ノート」のことを指し、この項目に書かれてある番号は、冊数の番号である。

「記録ノート」には、各ノートの表紙に番号が記載されており、これまで14冊の「記録ノート」が作成されている。現在も山中は、ノートに記録をしているが、15冊目のノートは記録途中であるため、整理表の分類においては、14冊目までのノートを扱っている。記録ノートは、現在、ノートを山中吾郎が所有し、ノートのコピーを論者（高橋）が持っている。

「年」は、「会」が開催された年である。「会」とは山中が参加した学習会の名称である。「会」に

ついては、後で詳しく述べる。

「テキスト」とは、山中が参加した学習会において用いられていた作品のことである。「テキスト（よみ）」は、その作品の読み方を平仮名で示したものである。整理表における「テキスト（よみ）」には、最後まで書かれていないものがあつたため、論者（高橋）が書き加えている。網掛けの部分は、書き加えたものである。西郷は、講義、講演において西郷文芸学を説明する際に、西郷自身が説明に適すると考えた作品を用いて行うことが多かった。説明に用いられる作品は、学校で教材として扱っているものに限らず、様々な文学作品が対象となっていた。「テキスト」に書かれてある作品名は、学校において用いられている教材としての作品に限らず、山中が参加した学習会において用いられていた作品が記されている。どのようなテキスト（作品）が用いられているかについては、後で詳しく述べる。

「作者」は、項目「テキスト（作品）」の作者名が書かれてある。学習会において用いられていた作品は、文学作品だけでなく説明的な文章もあるため、「テキスト」には、説明的な文章の題が記載されている。したがって、作者の項目には、説明的な文章の筆者も記載されている。また、山中が作成した整理表には、書かれていないものがあつたため、論者（高橋）が「西郷竹彦文芸・教育全集〔総索引〕（野澤ら編、1999、恒文社）」における「作品編（p.30-p.60）」を参考として書き加えた。さらに不明な点は、「記録ノート」と作品の分類時に参考とした『読んでもおきたい名著案内 教科書掲載作品 小・中学校編（日外アソシエーツ編、2008、紀伊國屋書店）』『読んでもおきたい名著案内 教科書掲載作品 1300（阿武泉監修、2008、紀伊國屋書店）』をも照らし合わせて書き加えた。それでもわからないものは空欄にしてある。網掛けの部分は、高橋が書き加えたものである。また、山中が作成した「整理表」には、「つりばしわたれ」の作者を「今江祥智」と記載されていたが、参考とした文献によって検討した結果、「長

崎源之助」である可能性が高いため、「長崎源之助」に書き変えた。

「内容(大)」は、学習会において話された内容の中で、山中が中心的な内容と判断したものの概念である。「内容(小)」は、「内容(大)」の下位概念と山中が判断したものである。ここに記載されている言葉は、西郷文芸学において用いられていた用語が多い。山中は、「整理表」を作成するにあたって、これまで文芸研において学んできた西郷文芸学の学習内容を踏まえて、「内容(大)」「内容(小)」の項目を分類している。したがって、西郷が講演したものや文芸研が主催した学習会におけるこの項目には、西郷文芸学の用語が多く示される形になっている。

「内容(大)」は、各内容によって示されている数が異なる。一番少なくて1、多くて133ある。50以上示されているものに、意味133、形象116、表記の形象性52、話体と文体123がある。「内容(小)」は、書かれてある部分とない部分がある。また、「内容(小)」は「内容(大)」の下位概念として記されている点が多い。今後、「内容(大)」及びに「内容(小)」に書かれてある概念がノートにどのように記載されているのか、また西郷文芸学との関係について、詳細に明らかにしていく予定である。

3. 「会」についての詳細

「会」に記された名称は、18示されているが、そのうち文芸研が開催した会(西郷竹彦が講演しているもの)は、9あり、その他の会も9ある。以下に分けて会の概要を示す。以下、説明に用いているアルファベットは、整理表には示していなかったが、便宜上、以下の説明と整理表に示している。また、各会の説明にあたっては、山中に尋ねて教えてもらった。

3. 1. 文芸研が主催し、西郷竹彦が参加・講演した学習会

まず、文芸研が主催し、西郷竹彦が参加・講演した会についてである。

「a.青年学校」は、文芸研内で開かれている学習会である。この会の説明には、次のようなものがある。「文芸研会長である西郷竹彦先生が、ご自身の提唱する『西郷文芸学』並びに『教育的認識論』を、文芸研の学習にあまり慣れていない方や、国語の授業や学習集団作りを基礎から学びたい方(青年に限

りません)を対象に、直接講義する学習会です。学習内容は、西郷先生の文芸学理論と教育的認識論はもちろんのこと、授業論、教育論、さらには最新の科学、物理学、哲学、芸術論などなど、多岐にわたる(『第40回記念文芸教育研究大会大阪大会』大会冊子(2005年8月))」西郷が自身の考えを文芸研のメンバーに講義するものなのである。山中によれば、現在では第17期となり、文芸研のベテラン教師が講師役となって継続しているということである。

「b.理論研」は、正式名称は「理論研究会」であり、文芸研内で開かれていた学習会である。「文芸学・教育学・心理学・言語学・認識論・美学などの専門家を講師に基礎理論の学習をする。青年学校の卒業生か、サークルの推薦が参加の条件。」(『第34回文芸教育全国研究集会鹿児島大会』大会冊子(1999年8月))山中によれば、下記の「d.特別講座」開始を機に、1998年10月で終了している。

「c.実践研」の正式名称は、「実践研究会」であり、文芸研内で開かれている学習会のことである。「教材分析・授業案(発問・板書)など実践に直結する問題について学習する。全国大会分科会の実践記録もここで集中的に検討。会員であれば誰でも参加できる。」(『第48回文芸教育全国研究大会東京大会』大会冊子(2013年8月))山中によれば、現在でも年2回開催している。

「d.特講」の正式名称は、「特別講座」である。「・」以降は、その講座のテーマが示されている。「会長が全国のサークルに出かけ、文芸学や教育的認識論の理論を体系的にしていぬいに講義。少人数で学習する。青年学校の卒業生かサークル員であることが参加の条件。」(『第48回文芸教育全国研究大会東京大会』大会冊子(2013年8月))山中が参加したのは山口県内(1998~2011年)と千葉県内(2012~2016年)で行われた講座である。山中によれば、西郷の体調悪化に伴い、2016年までしか行われなかった。

「e.関連・系統研」の正式名称は、「関連・系統指導研修会」である。2000年から2008年にかけて、ほぼ毎年開催されていた文芸研内の学習会で、会の名称は統一されていない。その時期の研究課題を集中的に学習した。とりあげられた内容は、総合学習(文部科学省・学習指導要領における「総合的な学習の時間」と区別するため、文芸研では「総合学習」という呼称を用いている)、「ものの見方・考え方」

の関連・系統指導，日本国憲法・教育基本法，学習指導要領改訂等である。同じ扱いで，「f.集中講座」，「g.総合研修（正式名称「総合学習研修会」）」，「h.春の研修（正式名称「文芸研春の研修会」）」，「i.憲法学習会」が開かれた。

上記に示した「会」の数は，「青年学校」32，「理論研（理論研究会）」10，「実践研（実践研究会）」152，「特講（特別講座）」728，「関連・系統研（関連・系統指導研修会）」2，「集中講座」1，「総合研修（総合学習研修会）」2，「春の研修（文芸研春の研修会）」4，「憲法学習会」1となっている。「特講（特別講座）」の数が圧倒的に多い。

3. 2. その他の学習会

その他の学習会においても山中に教えてもらった内容を次に示す。「j.サークル」とは，千葉文芸研松戸サークルの学習会である。「k.UD研」とは，授業のユニバーサルデザイン研究会（現：日本授業UD学会）である。「l.東京学習会」とは，東京都内で開催した文芸研の学習会（現：東京文芸研東京サークル）である。「m.民教連集會」とは，日本民間教育研究団体連絡会の交流研究集會である。「n.轍」とは，正式名称「轍の会」であり，山中が勤務する大東文化大学を卒業した教師による学習会を指す。

「o.探究の会」とは，東京国語教育探究の会の定例学習会である。「p.全国大学」とは，全国大学国語教育学会の研究大会である。「q.日文協学習会」とは，日本文学協会国語教育部会の学習会（東京）である。「r.日生連プレ」とは，日本生活教育連盟の全国大会プレ集會である。

各学習会の数は，「サークル」21，「UD研」1，「東京学習会」51，「民教連集會」3，「轍（轍の会）」9，「探究の会」9，「全国大学」5，「日文協学習会」1，「日生連プレ」1である。文芸研が主催した学習会であることもあり，「東京学習会」が一番多い。

4. 「テキスト」と「作者」について

ここでは，整理表に示された「テキスト」の詳細について述べる。「テキスト」には，「整理表」に示されている全ての学習会で扱った作品が掲載されている。

「テキスト」のジャンルは，「詩：物語や小説：説明的な文章：その他：不明や記入なしのもの」が，「42：42：3：2：11」の比率で用いられている。

テキストの分類にあたっては，「西郷竹彦文芸・教育全集〔総索引〕（野澤ら編，1999，恒文社）」における「作品編（p.30-p.60）」の分類をもとに行った。

「テキスト」の学年段階としては，「小学校：中学校：高等学校」の教材が，「56：26：18」の比率で用いられている。分類にあたっては，『読んでおきたい名著案内 教科書掲載作品 小・中学校編（日外アソシエーツ編，2008，紀伊國屋書店）』『読んでおきたい名著案内 教科書掲載作品 1300（阿武泉監修，2008，紀伊國屋書店）』を参考とした。両者の文献における凡例によると，日外アソシエーツ編（2008）は，1949年から2006年発行までの小，中学校国語教科書に，阿武泉監修（2008）は，1949年から2006年発行までの高校国語教科書に掲載された小説・戯曲・評論・随筆・詩・古文などの文章のうち，原則として題名や作者名の記載されていた作品を収録した目録である。各学年段階が重なっている作品もあるが，それらも含めて数をカウントし，全体の比率を出した。

整理表に記載されている作者のうち，20以上されているのは，草野心平 28，工藤直子 22，斎藤隆介 25，谷川俊太郎 23，新美南吉 30，まどみちお 47，宮沢賢治 48，三好達治 21 である。詩では，まどみちお，物語や小説では宮沢賢治の作品が多く用いられている。

5. おわりに

今後は，整理表の「西郷竹彦が参加・講演した学習会」に焦点を当てて，「内容（大）」「内容（小）」に記載してある概念を手がかりに，西郷文芸学の変遷を明らかにしていくつもりである。また，本解題を書くにあたって，山中吾郎氏には「会」についての説明等，多くの助言を頂いた。改めて，感謝を記しておきたい。

No	ノート	年	月	会	テキスト	テキスト(よみ)	作者	内容(大)	内容(小)
1	1	1994	3	a.青年学校	おおきなかぶ	おおきなかぶ	鈴木清司	教材解釈	読解力
2	1	1994	3	a.青年学校	レナド	れなど	鈴木清司	構造	呼称の変化
3	1	1994	3	a.青年学校	少年駅伝夫	しょうねんえきでんふ	鈴木清司	表現	
4	1	1994	3	a.青年学校	春のつもり歌	はるのつもりうた	鈴木清司	構造	
5	1	1994	3	a.青年学校	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	鈴木清司	視点	
6	1	1994	3	a.青年学校	とびこめ	とびこめ	鈴木清司	条件	
7	1	1994	3	a.青年学校	ひとりぼっちのつる	ひとりぼっちのつる	椋鳩十	認識の内容	
8	1	1994	8	a.青年学校	したきりすずめ	したきりすずめ	松谷みよ子	比較	
9	1	1994	8	a.青年学校	茂吉のねこ	もきちのねこ	松谷みよ子	人物像	
10	1	1994	8	a.青年学校	夏の靴	なつのくつ	川端康成	美	
11	1	1994	8	a.青年学校	ぼろぼろな駝鳥	ぼろぼろなだちよう	斎藤隆介	美	
12	1	1994	8	a.青年学校	二銭銅貨	にせんどうか	斎藤隆介	象徴	
13	1	1994	8	a.青年学校	モチモチの木	もちもちの木	斎藤隆介	条件	一水四見 依正不二
14	1	1994	10	a.青年学校	野の馬	のうま	今江祥智	ファンタジー	
15	1	1994	10	a.青年学校	不思議な不思議な長靴	ふしぎなふしぎな	佐藤さとる	ファンタジー	
16	1	1994	10	a.青年学校	なまけもの時計	なまけものどけい	佐藤さとる	解釈の多様性・相対性	
17	1	1995	1	a.青年学校	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	読解	
18	1	1995	1	a.青年学校	虚十公園林	けんじゆうこうえんりん	宮沢賢治	仏教哲学	
19	1	1995	1	a.青年学校	どろんこまつり	どろんこまつり	今江祥智	条件	性と相
20	1	1995	1	a.青年学校	歌時計	うたどけい	新美南吉	価値	
21	1	1995	1	a.青年学校	走れメロス	はしれめろす	太宰治	呼称の変化	
22	1	1995	1	a.青年学校	海辺の生と死	うみべのせいとし	島尾マホ	教材解釈	
23	1	1995	1	a.青年学校	赤い藪	あかいまゆ	斎藤隆介	象徴	
24	1	1995	3	a.青年学校	たんぼぼのちえ	たんぼぼのちえ	斎藤隆介	説明文指導	読得の論法
25	1	1995	3	a.青年学校	どうぶつのあし	どうぶつのあし	斎藤隆介	帰納と演繹	
26	1	1995	3	a.青年学校	じどう車くらべ	じどうしゃくらべ		観点	
27	1	1995	3	a.青年学校	どうぶつの赤ちやん	どうぶつのあかちやん	ますいみつこ	順序	
28	1	1995	3	a.青年学校	カブトガニを守る	かぶとがにをまもる	斎藤隆介	認識の内容	
29	1	1995	3	a.青年学校	やまなし	やまなし	宮沢賢治	縁起論	
30	1	1995	8	a.青年学校	宇宙人の宿題	うちゅうじんのしゅくだい	斎藤隆介	ファンタジー	
31	1	1995	8	a.青年学校	花と手品師	はなとてじなし	斎藤隆介	ファンタジー仕立て	
32	1	1996	1	a.青年学校	x	x		作文指導	
33	2	1994	11	b.理論研	やまなし	やまなし	宮沢賢治	仏教哲学	
34	2	1994	11	b.理論研	水仙月の四日	すいせんづきのよつか	宮沢賢治	仏教哲学	
35	2	1994	11	b.理論研	鳥をとるやなぎ	とりをとるやなぎ	宮沢賢治	仏教哲学	ファンタジー
36	2	1994	12	c.実践研	力太郎	ちからたろう	今江祥智	弁証法	
37	2	1994	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちの木	斎藤隆介	諸法実相	仮名
38	2	1995	3	b.理論研	風の又三郎	かぜのまたさぶろう	宮沢賢治	作品研究	宗左近さん
39	2	1995	10	b.理論研	啄木短歌	たくぼたんか	石川啄木	作家研究	
40	2	1995	12	c.実践研	いちばんのねがいごと	いちばんのねがいごと	エンデ	価値	
41	3	1996	10	b.理論研	x	x		ディベート	
42	3	1996	10	b.理論研	x	x		新学力観	
43	3	1996	12	c.実践研	x	x		虚構と現実	
44	3	1997	10	b.理論研	x	x		作文指導	
45	3	1997	10	b.理論研	x	x		言語・文法の指導	
46	3	1998	5	c.実践研	x	x		文芸教育	
47	3	1998	8	d.特講・視点	竹	たけ	斎藤隆介	視点	視野
48	3	1998	8	d.特講・視点	山頂から	さんちようから	小野十三郎	視点	視線
49	3	1998	8	d.特講・視点	雪の日	ゆきのひ	斎藤隆介	視点	視野
50	3	1998	8	d.特講・視点	雪	ゆき	三好達治	視点	視野
51	3	1998	8	d.特講・視点	理髪店にて	りはつてんにて	斎藤隆介	視点	視点の転換
52	3	1998	8	d.特講・視点	惣七家出一件	そうしちえいいつけん	斎藤隆介	視点	視点の転換
53	3	1998	8	d.特講・視点	水戸下サイ	みずをください	斎藤隆介	視点	視点の転換
54	3	1998	8	d.特講・視点	ずもう	ずもう	斎藤隆介	視点	視点の転換
55	3	1998	10	b.理論研	かもめがくれた三角の海	かもめがくれた	斎藤隆介	ファンタジー	
56	3	1998	11	d.特講・視点	少年駅伝夫	しょうねんえきでんふ	斎藤隆介	視点	話者と人物
57	3	1998	11	d.特講・視点	レナド	れなど	斎藤隆介	視点	話者と人物
58	3	1998	11	d.特講・視点	太郎こおろぎ	たろうこおろぎ	今西佑行	視点	話者と人物
59	3	1998	11	d.特講・視点	夏の靴	なつのくつ	川端康成	視点	話者と人物
60	3	1998	11	d.特講・視点	皇帝の新しい着物	こうていのあたらしいきもの	斎藤隆介	視点	話者と人物
61	3	1998	11	d.特講・視点	とびこめ	とびこめ	斎藤隆介	視点	話者と人物
62	3	1998	11	d.特講・視点	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	視点	話者と人物
63	3	1998	11	d.特講・視点	ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり	あまんきみこ	視点	共同体
64	3	1998	11	d.特講・視点	かげ	かげ	新美南吉	視点	共同体
65	3	1998	11	d.特講・視点	わらぐつの中の神様	わらぐつの中の	杉みき子	視点	視点の転換
66	3	1998	11	d.特講・視点	ソメコとオニ	そめことおに	斎藤隆介	視点	視点の転換
67	3	1998	11	d.特講・視点	セメント樽の中の手紙	せめんとたるのなかの	斎藤隆介	視点	視点の転換
68	3	1998	11	d.特講・視点	春のうた	はるのうた	草野心平	視点	視点の転換
69	3	1998	11	d.特講・視点	秋の夜の会話	あきのよのかいわ	草野心平	視点	交互視点
70	3	1998	11	d.特講・視点	皇帝の新しい着物	こうていのあたらしいきもの	斎藤隆介	視点	視角の転換
71	3	1998	11	d.特講・視点	女工哀史	じょこうあいし	木下順二	視点	視角の転換
72	3	1998	11	d.特講・視点	野の馬	のうま	今江祥智	視点	視角の転換
73	3	1998	11	d.特講・視点	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	視点	視角の転換
74	3	1998	11	d.特講・視点	茂吉のねこ	もきちのねこ	松谷みよ子	視点	視角の転換
75	3	1998	11	d.特講・視点	大きな白樺	おおきなしらかば	斎藤隆介	視点	視角の転換
76	3	1998	11	d.特講・視点	ひとりぼっちのつる	ひとりぼっちのつる	椋鳩十	視点	視角の転換
77	3	1998	11	d.特講・視点	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	斎藤隆介	初読と再読	
78	3	1999	11	d.特講・視点	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	ことば・表現	
79	3	1999	1	d.特講・人物もの	つけもののおもしろ	つけものおもしろ	まどみちお	もの一人物	
80	3	1999	1	d.特講・人物もの	なわ一本	なわいっぽん	斎藤隆介	もの一人物	
81	3	1999	1	d.特講・人物もの	水すまし	みずすまし	高橋忠治	もの一人物	
82	3	1999	1	d.特講・人物もの	つくだ煮の小さな	つくだ煮のこさかな	斎藤隆介	もの一人物	
83	3	1999	1	d.特講・人物もの	空気	くわき	まどみちお	もの一人物	

84	3	1999	1	d.特講・人物もの	スコップ	すこっぷ	山田隆彦	もの一人物	
85	3	1999	1	d.特講・人物もの	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	もの一人物	
86	3	1999	1	d.特講・人物もの	青銅のライオン	せいどうのらいおん	須藤正美	もの一人物	
87	3	1999	1	d.特講・人物もの	菊の花	きくのはな	羽鳥麗彦	もの一人物	
88	3	1999	1	d.特講・人物もの	野の馬	ののうま	今江祥智	もの一人物	
89	3	1999	1	d.特講・人物もの	赤い簾	あかいまゆ	安部公房	人物一もの	
90	3	1999	1	d.特講・人物もの	セメント樽の中の手紙	せめんとだるのなかの	森山操	人物一もの	
91	3	1999	1	d.特講・人物もの	わらくつの中の様	わらくつの中のかの	杉みき子	象徴	人物ともの関連
92	3	1999	1	d.特講・人物もの	二銭銅貨	にせんどうか	瀧澤弘治	象徴	人物ともの関連
93	3	1999	1	d.特講・人物もの	水	みず	佐多稲子	象徴	人物ともの関連
94	3	1999	1	d.特講・人物もの	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	象徴	人物ともの関連
95	3	1999	4	d.特講・筋	きさみみずきん	きさみみずきん	木下順二	形象相関・全一性	
96	3	1999	4	d.特講・筋	歌時計	うたけい	新美南吉	形象相関・全一性	象徴
97	3	1999	4	d.特講・筋	つりばしわたれ	つりばしわたれ	長瀬裕之	形象相関	視点と対象
98	3	1999	4	d.特講・筋	きりん	きりん	まどみちお	形象相関	視点と対象
99	3	1999	4	d.特講・筋	ばぶくどん	ばぶくどん	草野心平	形象相関	視点と対象
100	3	1999	4	d.特講・筋	夏の靴	なつのくつ	川端康成	形象相関	
101	3	1999	4	d.特講・筋	鉄棒	てつぼう	村野四郎	形象相関	人間が世界をつくる
102	3	1999	4	d.特講・筋	ナワ飛びする少女	なわとびするしょうじょ	瀧澤弘治	形象相関	世界を変える
103	3	1999	4	d.特講・筋	なわ一本	なわいっぴん	清沢彰彦	形象相関	相関関係
104	3	1999	4	d.特講・筋	おじさんのかさ	おじさんのかさ	佐野洋子	価値	
105	3	1999	5	d.特講・筋	野を歩けば	のをあるけば	森山操	形象の全一性	
106	3	1999	5	d.特講・筋	馬でかければ	うまでかければ	瀧澤弘治	形象の全一性	
107	3	1999	5	d.特講・筋	春の子もり歌	はるのこもりうた	宇野浩二	形象の全一性	
108	3	1999	5	d.特講・筋	とびこめ	とびこめ	羽鳥麗彦	形象の全一性	
109	3	1999	5	d.特講・筋	祖母	そぼ	三好達治	形象の全一性	
110	3	1999	5	d.特講・筋	雷の日	ゆきのひ	羽鳥麗彦	形象の全一性	
111	3	1999	5	d.特講・筋	バッタのうた	ばったのうた	森山操	形象の全一性	
112	3	1999	5	d.特講・筋	おうむ	おうむ	瀧澤弘治	形象の全一性	
113	3	1999	5	d.特講・筋	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	形象の全一性	
114	3	1999	5	d.特講・筋	麦畑	むぎばたけ	森山操	形象の全一性	
115	3	1999	5	d.特講・筋	月夜のみみずく	つきよのみみずく	羽鳥麗彦	形象の全一性	
116	3	1999	5	d.特講・筋	小僧の神様	こぞうのかみさま	志賀直哉	作者と話者	
117	3	1999	5	d.特講・筋	狂人日記	きやうじんにつき	魯迅	虚構の方法	
118	3	1999	5	d.特講・筋	山椒大夫	さんしょうだゆう	森山操	呼称の変化	
119	3	1999	7	d.特講・形象	夏の靴	なつのくつ	川端康成	形象の全一性	
120	3	1999	7	d.特講・形象	女工哀史	じょこうあいし	木下順二	形象の全一性	
121	3	1999	7	d.特講・形象	バッタのうた	ばったのうた	森山操	表記の形象性	
122	3	1999	7	d.特講・形象	吹雪	ふぎ	瀧澤弘治	表記の形象性	
123	3	1999	7	d.特講・形象	夕方の三十分	ゆうがたのさん	瀧澤弘治	表記の形象性	
124	3	1999	7	d.特講・形象	ヒロシマ神話	ひろしましんわ	瀧澤弘治	表記の形象性	
125	3	1999	7	d.特講・形象	コレガ人間ノデス	これがにんげんなのです	原民喜	表記の形象性	
126	3	1999	7	d.特講・形象	水ヲ下サイ	みずをください	瀧澤弘治	表記の形象性	
127	3	1999	7	d.特講・形象	かもつれっしゃ	かもつれっしゃ	有馬敏	表記の形象性	
128	3	1999	7	d.特講・形象	あかん	あかん	高田敏子	表記の形象性	
129	3	1999	7	d.特講・形象	せみ	せみ	有馬敏	表記の形象性	
130	3	1999	7	d.特講・形象	八郎	はちろう	斎藤隆介	表記の形象性	
131	3	1999	7	d.特講・形象	白鳥は(俳句)	しらとりは	牧水	表記の形象性	
132	3	1999	7	d.特講・形象	春のうた	はるのうた	草野心平	表記の形象性	
133	3	1999	7	d.特講・形象	イナゴ	いなご	まどみちお	表記の形象性	
134	3	1999	7	d.特講・形象	石	いし	草野心平	表記の形象性	
135	3	1999	7	d.特講・形象	およぐひと	およぐひと	瀧澤弘治	表記の形象性	
136	3	1999	7	d.特講・形象	雑草	ざっそう	北川冬彦	表記の形象性	
137	3	1999	7	d.特講・形象	大阿蘇	おおあそ	三好達治	表記の形象性	
138	3	1999	7	d.特講・形象	祖母	そぼ	三好達治	表記の形象性	
139	3	1999	7	d.特講・形象	母をおもう	ははをおもう	八木重吉	表記の形象性	
140	3	1999	7	d.特講・形象	きょうね	きょうね	瀧澤弘治	表記の形象性	
141	3	1999	7	d.特講・形象	キリン	きりん	まどみちお	表記の形象性	
142	3	1999	7	d.特講・形象	鳥百態	からすひやくたい	宮沢賢治	表記の形象性	
143	3	1999	7	d.特講・形象	みち	みち	谷川俊太郎	表記の形象性	つづけがき
144	3	1999	7	d.特講・形象	きもち	きもち	谷川俊太郎	表記の形象性	つづけがき
145	3	1999	7	d.特講・形象	いるか	いるか	谷川俊太郎	表記の形象性	つづけがき
146	3	1999	7	d.特講・形象	であるとあるで	であるとあるで	谷川俊太郎	表記の形象性	つづけがき
147	3	1999	7	d.特講・形象	風景	ふうけい	山田隆彦	表記の形象性	つづけがき
148	3	1999	7	d.特講・形象	あめ	あめ	山田隆彦	表記の形象性	つづけがき
149	3	1999	7	d.特講・形象	バッタのうた	ばったのうた	森山操	表記の形象性	わかちがき
150	3	1999	7	d.特講・形象	あめのうた	あめのうた	瀧澤弘治	表記の形象性	わかちがき
151	3	1999	7	d.特講・形象	はくさいぎしぎし	はくさいぎしぎし	武蔵悦子	表記の形象性	わかちがき
152	3	1999	7	d.特講・形象	海の若者	うみのわかもの	瀧澤弘治	表記の形象性	わかちがき
153	3	1999	7	d.特講・形象	かぼちゃのつるが	かぼちゃのつるが	原田直友	表記の形象性	句読法
154	3	1999	7	d.特講・形象	おっかけ歌	おっかけうた	瀧澤弘治	表記の形象性	句読法
155	3	1999	7	d.特講・形象	おそろしい夕方	おそろしいゆうがた	瀧澤弘治	表記の形象性	句読法
156	3	1999	7	d.特講・形象	母に云う	ははにいう	瀧澤弘治	表記の形象性	句読法
157	3	1999	7	d.特講・形象	雑草	ざっそう	北川冬彦	表記の形象性	句読法
158	3	1999	7	d.特講・形象	窓	まど	瀧澤弘治	表記の形象性	句読法
159	3	1999	7	d.特講・形象	イナゴ	いなご	まどみちお	表記の形象性	倒置法
160	3	1999	7	d.特講・形象	鹿	しか	瀧澤弘治	表記の形象性	倒置法
161	3	1999	7	d.特講・形象	根	ね	まどみちお	表記の形象性	倒置法
162	3	1999	7	d.特講・形象	石	いし	草野心平	表記の形象性	倒置法
163	3	1999	7	d.特講・形象	黒い蠅	くろいはえ	瀧澤弘治	表記の形象性	倒置法
164	3	1999	7	d.特講・形象	風土	ふうど	山田隆彦	表記の形象性	倒置法
165	3	1999	7	d.特講・形象	ナワ飛びする少女	なわとびするしょうじょ	瀧澤弘治	表記の形象性	倒置法
166	3	1999	7	d.特講・形象	音	おと	まどみちお	表記の形象性	かけことば

167	3	1999	7	d.特講・形象	きくわん車	きくわんしゃ	奥野素直	表記の形象性	かけことば
168	3	1999	7	d.特講・形象	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	山田孝弘	表記の形象性	かけことば
169	3	1999	7	d.特講・形象	雪	ゆき	三好達治	表記の形象性	かけことば
170	3	1999	7	d.特講・形象	球根たち	きゅうこんたち	奥野素直	表記の形象性	かけことば
171	3	1999	7	d.特講・形象	われは草なり	われはくさなり	奥野素直	表記の形象性	文語調
172	3	1999	7	d.特講・形象	掌上の種	しょうじょうのたね	奥野素直	表記の形象性	文語調
173	3	1999	7	d.特講・形象	かいだん	かいだん	奥野素直	形態の形象性	
174	3	1999	7	d.特講・形象	風景	ふうけい	山村暮鳥	形態の形象性	
175	3	1999	7	d.特講・形象	あめ	あめ	山田孝弘	形態の形象性	
176	3	1999	7	d.特講・形象	ナワ飛びする少女	なわとびするしょうじょ	奥野素直	形態の形象性	
177	3	1999	7	d.特講・形象	石	いし	草野心平	形態の形象性	
178	3	1999	7	d.特講・形象	母をおもう	ははおもう	八木重吉	形態の形象性	
179	3	1999	7	d.特講・形象	祖母	そぼ	三好達治	形態の形象性	
180	3	1999	7	d.特講・形象	虻	あぶ	奥野素直	形態の形象性	
181	3	1999	7	d.特講・形象	キリン	きりん	まどみちお	形態の形象性	
182	3	1999	7	d.特講・形象	山頂から	さんちょうから	小野十三郎	形態の形象性	
183	3	1999	7	d.特講・形象	大怪魚	だいかいぎょ	奥野素直	形態の形象性	
184	3	1999	7	d.特講・形象	おそろしい夕方	おそろしいゆうがた	奥野素直	形態の形象性	
185	3	1999	7	d.特講・形象	絶対には否定の副詞	ぜったいにはひてい	奥野素直	形態の形象性	
186	3	1999	7	d.特講・形象	いやなこと	いやなこと	奥野素直	形態の形象性	
187	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	かもつれっしや	かもつれっしや	有馬敏	声喩	
188	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	水ヲ下サイ	みずをください	奥野素直	声喩	
189	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	おれはかまきり	おれはかまきり	工藤直子	声喩	
190	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	きもち	きもち	谷川俊太郎	声喩	
191	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	おと	おと	工藤直子	声喩	
192	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	春のうた	はるのうた	草野心平	声喩	
193	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	母をおもう	ははおもう	八木重吉	声喩	
194	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	小さなみなとの町	ちいさなみなとのまち	奥野素直	声喩	声喩の名詞化
195	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	せみ	せみ	有馬敏	声喩	声喩の名詞化
196	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	たんぽぽ	たんぽぽ	まどみちお	声喩	声喩の名詞化
197	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	たんぽぽ	たんぽぽ	川崎洋	声喩	声喩の名詞化
198	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	バツタのうた	ばつたのうた	奥野素直	声喩	名詞の声喩化
199	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	かいだん	かいだん	奥野素直	声喩	名詞の声喩化
200	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	こんこんこな雪ふる朝に	こんこんこなゆき	奥野素直	声喩	
201	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	わるくち	わるくち	まどみちお	声喩	
202	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	大阿蘇	おおあそ	三好達治	声喩	声喩の造語
203	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	掌上の種	しょうじょうのたね	奥野素直	声喩	声喩の造語
204	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	竹	たけ	奥野素直	声喩	声喩の造語
205	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	寂しき春	さびしきはる	奥野素直	声喩	声喩の造語
206	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	落葉松	からまつ	奥野素直	声喩	声喩の造語
207	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	春のうた	はるのうた	草野心平	声喩	声喩の造語
208	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	あめ	あめ	山田孝弘	声喩	声喩の造語
209	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	音	おと	まどみちお	声喩	共感覚
210	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	えぼ	えぼ	草野心平	声喩	共感覚
211	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	たべもの	たべもの	中江俊夫	声喩	共感覚
212	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	はくさいぎしぎし	はくさいぎしぎし	武蔵悦子	声喩	
213	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	あめ	あめ	山田孝弘	声喩	
214	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	はじめて小鳥が飛んだとき	はじめてことりが	原田直友	声喩	
215	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	牛	うし	奥野素直	声喩	
216	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	雪の日	ゆきのひ	奥野素直	声喩	
217	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	鹿	しか	奥野素直	声喩	
218	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	乾いた路	かわいたみち	奥野素直	声喩	
219	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	水底吹笛	すいていすいてき	奥野素直	声喩	
220	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	夕焼け	ゆうやけ	吉野弘	声喩	
221	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	祖母	そぼ	三好達治	比喩	
222	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	手	て	八木重吉	比喩	ふさわしい比喩
223	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	ぼくの家だけあかりがとも	ぼくのいえだけ	奥野素直	比喩	ふさわしい比喩
224	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	陽口あだネ村	ひこあだねむら	奥野素直	比喩	ふさわしい比喩
225	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	およぐひと	およぐひと	奥野素直	比喩	ふさわしい比喩
226	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	白い馬	しろいうま	奥野素直	比喩	異質な比喩
227	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	土	つち	三好達治	比喩	異質な比喩
228	3	1999	10	d.特講・声喩比喩	五月の雉	ごがつのきじ	奥野素直	比喩	異質な比喩
229	3	1999	12	c.実践研	×	×			二相ゆらぎ
230	4	2000	1	d.特講・比喩	鉄棒	てつぼう	村野四郎	比喩	
231	4	2000	1	d.特講・比喩	ナワ飛びする少女	なわとびするしょうじょ	奥野素直	比喩	
232	4	2000	1	d.特講・比喩	虻	あぶ	奥野素直	比喩	
233	4	2000	1	d.特講・比喩	イナゴ	いなご	まどみちお	比喩	
234	4	2000	1	d.特講・比喩	から	から	宮入黎子	比喩	
235	4	2000	1	d.特講・比喩	あめ	あめ	山田孝弘	比喩	程度を表す比喩
236	4	2000	1	d.特講・比喩	根	ね	まどみちお	比喩	程度を表す比喩
237	4	2000	1	d.特講・比喩	スイミー	すいみー	レオレオニ	比喩	程度を表す比喩
238	4	2000	1	d.特講・比喩	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	比喩	
239	4	2000	1	d.特講・比喩	天	てん	山之口賢	比喩	
240	4	2000	1	d.特講・比喩	やまなし	やまなし	宮沢賢治	比喩	
241	4	2000	1	d.特講・比喩	土	つち	三好達治	比喩	
242	4	2000	1	d.特講・比喩	根	ね	まどみちお	比喩	
243	4	2000	1	d.特講・比喩	黒い蠅	くろいはえ	奥野素直	比喩	
244	4	2000	1	d.特講・比喩	夕焼け	ゆうやけ	吉野弘	比喩	
245	4	2000	1	d.特講・比喩	木	き	草野心平	比喩	
246	4	2000	1	d.特講・比喩	夜が静かなので	よるがしずかなので	奥野素直	比喩	
247	4	2000	1	d.特講・比喩	眼	め	永瀬清子	比喩	
248	4	2000	1	d.特講・比喩	棒をのんだ話	ぼうをのんだはなし	奥野素直	比喩	
249	4	2000	3	f.集中講座	×	×			総合学習
250	4	2000	5	c.実践研	×	×			形象相関の原理(筋)
251	4	2000	8	d.特講・比喩	鉄棒	てつぼう	村野四郎	虚構	

252	4	2000	8 d.特講・筋	あかいふうせん	あかいふうせん		形象	
253	4	2000	8 d.特講・筋	おれはかまきり	おれはかまきり	工藤直子	筋の原動力	
254	4	2000	8 d.特講・筋	われは草なり	われはくさなり	斎藤隆	筋の原動力	
255	4	2000	8 d.特講・筋	春のうた	はるのうた	草野心平	筋の原動力	
256	4	2000	8 d.特講・筋	ゆきのなかのこいぬ	ゆきのなかのこいぬ	すずきとしか	筋の原動力	
257	4	2000	8 d.特講・筋	ひばりのす	ひばりのす	津田英子	筋の原動力	
258	4	2000	8 d.特講・筋	バツタのうた	ばつたのうた	高橋洋子	筋の原動力	
259	4	2000	8 d.特講・筋	母をおもう	ははをおもう	八木重吉	筋の原動力	
260	4	2000	8 d.特講・筋	おおきなかぶ	おおきなかぶ	西園ゆき子	筋の原動力	
261	4	2000	8 d.特講・筋	ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり	あまみきこ	筋の原動力	
262	4	2000	8 d.特講・筋	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	筋の原動力	
263	4	2000	8 d.特講・筋	おさるがふねをかきました	おさるがふねをかきました	まどみちお	筋の原動力	
264	4	2000	8 d.特講・筋	つりばわたれ	つりばわたれ	斎藤隆	筋の原動力	
265	4	2000	8 d.特講・筋	つけもののおもし	つけもののおもし	まどみちお	筋の原動力	
266	4	2000	8 d.特講・筋	けしゴム	けしごむ	津田英子	筋の原動力	
267	4	2000	8 d.特講・筋	涙	なみだ	原田直友	筋の原動力	
268	4	2000	8 d.特講・筋	すいぞくかん	すいぞくかん	津田英子	筋の原動力	
269	4	2000	8 d.特講・筋	足	あし	川崎洋	意味	
270	4	2000	8 d.特講・筋	竹	たけ	斎藤隆	意味	相関
271	4	2000	8 d.特講・筋	かぼちゃのつるが	かぼちゃのつるが	原田直友	意味	相関
272	4	2000	8 d.特講・筋	つけもののおもし	つけもののおもし	まどみちお	意味	相関
273	4	2000	8 d.特講・筋	匙	さし	斎藤隆	意味	類推
274	4	2000	8 d.特講・筋	歌時計	うたどけい	新美南吉	意味	象徴
275	4	2000	8 d.特講・筋	おじさんのかさ	おじさんのかさ	佐野洋子	意味	価値
276	4	2000	9 d.特講・筋	きりん	きりん	まどみちお	仕掛のある筋	
277	4	2000	9 d.特講・筋	コレガ人間ナノデス	これがにんげんなのです	原民喜	仕掛のある筋	
278	4	2000	9 d.特講・筋	山頂から	さんちょうから	小野十三郎	仕掛のある筋	
279	4	2000	9 d.特講・筋	であるとあるで	であるとあるで	谷川俊太郎	仕掛のある筋	題名による仕掛
280	4	2000	9 d.特講・筋	うちってんねん	うちってんねん	斎藤隆	仕掛のある筋	題名による仕掛
281	4	2000	9 d.特講・筋	私を束ねないで	わたしをたばねないで	新川和江	仕掛のある筋	題名による仕掛
282	4	2000	9 d.特講・筋	ぞうのかくれんぼ	ぞうのかくれんぼ	津田英子	仕掛のある筋	題名による仕掛
283	4	2000	9 d.特講・筋	動物たちの恐ろしい夢の	どうぶたちのおそろしい	川崎洋	仕掛のある筋	題名による仕掛
284	4	2000	9 d.特講・筋	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	津田英子	仕掛のある筋	
285	4	2000	9 d.特講・筋	だんごじぞう	だんごじぞう	西郷竹彦	仕掛のある筋	文芸の時空
286	4	2000	9 d.特講・筋	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	仕掛のある筋	
287	4	2000	9 d.特講・筋	つりばわたれ	つりばわたれ	斎藤隆	仕掛のある筋	
288	4	2000	9 d.特講・筋	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆	仕掛のある筋	
289	4	2000	9 d.特講・筋	手ぶくろを買いに	てぶくろをかいに	新美南吉	仕掛のある筋	
290	4	2000	9 d.特講・筋	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	津田英子	形象の全一性	伏線
291	4	2000	9 d.特講・筋	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆	形象の全一性	伏線
292	4	2000	9 d.特講・筋	とびこめ	とびこめ	津田英子	形象の全一性	コード
293	4	2000	9 d.特講・筋	茂吉のねこ	もきちのねこ	松谷みよ子	初読と再読の筋	
294	4	2000	9 d.特講・筋	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	初読と再読の筋	
295	4	2000	9 d.特講・筋	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	初読と再読の筋	
296	4	2001	2 d.特講・筋	ぼくからみると	ぼくからみると	高木仁三郎	視点	主観と客観
297	4	2001	2 d.特講・筋	いぬがいっぱい	いぬがいっぱい	津田英子	二相ゆらぎ	換喩
298	4	2001	2 d.特講・筋	鳥百態	からすひゃくたい	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
299	4	2001	2 d.特講・筋	いたずらこねこ	いたずらこねこ	斎藤隆	筋	イメージと意味の筋
300	4	2001	2 d.特講・筋	かいだん	かいだん		意味	
301	4	2001	2 d.特講・筋	わにのおじいさんのたから	わにのおじいさん	川崎洋	意味	
302	4	2001	2 d.特講・筋	うしさんうふふ	うしさんうふふ	斎藤隆	意味	
303	4	2001	2 d.特講・筋	すいぞくかん	すいぞくかん	津田英子	意味	
304	4	2001	2 d.特講・筋	けしゴム	けしごむ	まどみちお	意味	
305	4	2001	2 d.特講・筋	だからわらい	だからわらい	オセーエフ	筋	場面と構成
306	4	2001	3 e.総合研修	×	×		総合学習	
307	4	2001	5 c.実践研	×	×		意味	
308	4	2001	5 d.特講・意味	生きる	いきる	谷川俊太郎	意味	多様性・相対性
309	4	2001	5 d.特講・意味	夜が静かなので	よるがしずかなので	斎藤隆	意味	多様性・相対性
310	4	2001	5 d.特講・意味	二銭銅貨	にせんどうか	斎藤隆	意味	狭い・広い
311	4	2001	5 d.特講・意味	うしさんうふふ	うしさんうふふ	斎藤隆	意味	浅い・深い
312	4	2001	5 d.特講・意味	峠	とうげ		意味	浅い・深い
313	4	2001	5 d.特講・意味	かけ	かけ	新美南吉	意味	ナンセンス
314	4	2001	5 d.特講・意味	であるとあるで	であるとあるで	谷川俊太郎	意味	ナンセンス
315	4	2001	5 d.特講・意味	推理	すいり	斎藤隆	意味	ナンセンス
316	4	2001	5 d.特講・意味	くまさん	くまさん	まどみちお	意味	
317	4	2001	5 d.特講・意味	ぼっぶくどん	ぼっぶくどん	草野心平	意味	
318	4	2001	5 d.特講・意味	鉄棒	てつぼう	村野四郎	意味	
319	4	2001	5 d.特講・意味	村の人口	むらのじんこう	原田直友	意味	
320	4	2001	5 d.特講・意味	抗議	こうぎ	斎藤隆	意味	
321	4	2001	5 d.特講・意味	動物たちの恐ろしい夢の	どうぶたちのおそろしい	川崎洋	意味	
322	4	2001	5 d.特講・意味	われは草なり	われはくさなり	斎藤隆	意味	
323	4	2001	5 d.特講・意味	天	てん	草野心平	意味	
324	4	2001	5 d.特講・意味	おぼけならうだろう	おぼけならうだろう	まどみちお	意味	
325	4	2001	5 d.特講・意味	から	から	宮入黎子	意味	
326	4	2001	5 d.特講・意味	バツタのうた	ばつたのうた	高橋洋子	意味	矛盾
327	4	2001	5 d.特講・意味	イナゴ	いなご	まどみちお	意味	矛盾
328	4	2001	5 d.特講・意味	牛	うし	新美南吉	意味	矛盾
329	4	2001	5 d.特講・意味	涙	なみだ	川崎洋	意味	矛盾
330	4	2001	5 d.特講・意味	夕鶴	ゆうづる	木下順二	意味	矛盾
331	4	2001	5 d.特講・意味	コレガ人間ナノデス	これがにんげんなのです	原民喜	意味	逆説的
332	4	2001	5 d.特講・意味	言わずにおれなくなる	いわずにおれなくなる	谷川俊太郎	意味	逆説的
333	4	2001	9 d.特講・意味	×	×		意味	ことばは対象を分節

334	4	2001	9	d.特講・意味	×	×			意味	意味と価値
335	4	2001	9	d.特講・意味	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治		意味	読解
336	4	2001	9	d.特講・意味	鉄棒	てつぼう	村野四郎		意味	意味の形成・深化
337	4	2001	9	d.特講・意味	おおきなかぶ	おおきなかぶ	栗田洋子		意味	意味の形成・深化
338	4	2001	9	d.特講・意味	五月雨や(俳句)	さみだれや	蕪村		意味	語の意味・文の意味
339	4	2001	9	d.特講・意味	春の子もり歌	はるのこもりうた	須藤武彦		意味	
340	4	2001	9	d.特講・意味	コレガ人間ナノデス	これが人間げんなのです	原良喜		意味	
341	4	2001	9	d.特講・意味	黒い蝶	くろいはえ	津川嘉郎		意味	
342	4	2001	9	d.特講・意味	おじさんのかさ	おじさんのかさ	佐野洋子		意味	
343	4	2001	9	d.特講・意味	×	×			もの見方・考え方	関連・系統指導
344	4	2001	12	d.特講・意味	とる	とる			意味	ことばの意味
345	4	2001	12	d.特講・意味	あかん	あかん	高田洋子		意味	ことばの意味
346	4	2001	12	d.特講・意味	おうむ	おうむ	鶴岡正純		意味	ことばの意味
347	4	2001	12	d.特講・意味	一つのメルヘン	ひとつのめるへん	中原中也		意味	
348	4	2001	12	d.特講・意味	スイミー	すいみー	レオレオニ		意味	
349	4	2001	12	d.特講・意味	野の馬	ののうま	今江祥智		意味	
350	4	2001	12	d.特講・意味	ひとりぼっちのつる	ひとりぼっちのつる	椋鳩十		意味	
351	4	2001	12	d.特講・意味	ふきのとう	ふきのとう	工藤直子		意味	行為の意味
352	4	2001	12	d.特講・意味	アレクサンダとぜんまいね	あれさんだと	レオレオニ		意味	
353	4	2001	12	d.特講・意味	扇の(的(平家物語))	おうぎのまと	山田洋次		意味	
354	4	2001	12	d.特講・意味	土堤を外れ(俳句)	どてをはずれ	山田洋次		意味	
355	4	2001	12	d.特講・意味	二銭銅貨	にせんどうか	高田洋子		意味	
356	4	2001	12	d.特講・意味	大きな白樺	おおきなしらかば	山田洋次		意味	
357	4	2001	12	d.特講・意味	ねずみ	ねずみ	山田洋次		意味	関連
358	4	2001	12	d.特講・意味	歯車	はぐるま	山田洋次		意味	関連
359	4	2001	12	d.特講・意味	赤い繭	あかいまゆ	安野光雅		意味	
360	4	2001	12	c.実践研	わらぐつの中の神様	わらぐつの中の	杉みき子		意味	ものごとの意味
361	4	2001	12	c.実践研	海の命	うみのいのち	立松和平		意味	ものごとの意味
362	4	2001	12	c.実践研	故郷	こきょう	魯迅		意味	ものごとの意味
363	4	2001	12	c.実践研	やまなし	やまなし	宮沢賢治		意味	ものごとの意味
364	4	2001	12	c.実践研	スーホの白い馬	すーほのしろいうま	大塚勇三		意味	ものごとの意味
365	4	2001	12	c.実践研	一つの花	ひとつのはな	今西佑行		意味	ものごとの意味
366	4	2001	12	c.実践研	スイミー	すいみー	レオレオニ		意味	行為の意味
367	4	2001	12	c.実践研	くじらぐも	くじらぐも	中川幸枝子		意味	行為の意味
368	4	2001	12	c.実践研	お手紙	おてがみ	ローベル		意味	行為の意味
369	4	2001	12	c.実践研	てぶくろ	てぶくろ	津川嘉郎		意味	
370	4	2001	12	c.実践研	虚十公園林	けんじゅうこうえんりん	宮沢賢治		意味	
371	4	2001	12	c.実践研	月夜のみみずく	つきよのみみずく	工藤直子		意味	
372	4	2001	12	c.実践研	ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり	あまみきこ		意味	
373	4	2002	2	d.特講・意味	ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり	あまみきこ		意味	
374	4	2002	2	d.特講・意味	ききみみずきん	ききみみずきん	木下順二		意味	行為の意味
375	4	2002	2	d.特講・意味	一つの花	ひとつのはな	今西佑行		意味	
376	4	2002	2	d.特講・意味	みずたまり	みずたまり	武藤操子		意味	
377	4	2002	2	d.特講・意味	窓	まど	栗田洋子		意味	
378	4	2002	2	d.特講・意味	おと	おと	工藤直子		意味	文芸の単位は形象
379	4	2002	2	d.特講・意味	おきやくさま	おきやくさま	香山養子		意味	文芸の単位は形象
380	4	2002	2	d.特講・意味	かいだん	かいだん			意味	
381	4	2002	2	d.特講・意味	惣七家出一件	そうしちえいでいっけん	栗田洋子		意味	
382	4	2002	2	d.特講・意味	鷹と獅子	たいとしし	山田洋次		意味	
383	4	2002	2	d.特講・意味	天国	てんごく	新藤兼吉		意味	
384	4	2002	2	d.特講・意味	空気	くうき	まどみちお		意味	
385	4	2002	2	d.特講・意味	東京のパラード	とうきょうのばらーど	谷川俊太郎		意味	
386	4	2002	2	d.特講・意味	悪魔の辞典	あくまのじてん	ピアス		意味	
387	4	2002	2	d.特講・意味	動物園の珍しい動物	どうぶつえんの	栗田洋子		意味	
388	4	2002	2	d.特講・意味	故郷	こきょう	魯迅		意味	
389	4	2002	2	d.特講・意味	落葉松	からまつ	栗田洋子		意味	
390	5	2002	3	e.総合研修	×	×			総合学習	
391	5	2002	6	d.特講・意味	マネキン	まねきん	宮沢賢治		虚構	否定態
392	5	2002	6	d.特講・意味	城之崎にて	きのさきにて	志賀直哉		筋	イメージと意味の筋
393	5	2002	6	d.特講・意味	夏の葬列	なつのそうれつ	山田洋次		筋	イメージと意味の筋
394	5	2002	6	d.特講・意味	スコップ	すこっぷ	山田洋次		意味	
395	5	2002	6	d.特講・意味	棒をのんだ話	ぼうをのんだはなし	津川嘉郎		意味	
396	5	2002	6	d.特講・意味	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか		意味	
397	5	2002	10	d.特講・虚構	×	×			虚構	形象は一元化する
398	5	2002	10	d.特講・虚構	雷の日	ゆきのひ	栗田洋子		虚構の時空	
399	5	2002	10	d.特講・虚構	すいれんのはっぱ	すいれんのはっぱ	清がすけ		虚構の時空	
400	5	2002	10	d.特講・虚構	にじ色の魚	にじいろのさかな	新藤兼吉		虚構の時空	
401	5	2002	10	d.特講・虚構	洛中洛外図(絵画)	らくちゅうらくがいず			虚構の時空	
402	5	2002	10	d.特講・虚構	ひとつの火	ひとつのひ	新美南吉		虚構の時空	
403	5	2002	10	d.特講・虚構	山男の四月	やまおとこのしがつ	宮沢賢治		虚構の時空	
404	5	2002	10	d.特講・虚構	トロコ	とろっこ	津川嘉郎		虚構の時空	
405	5	2002	11	d.特講・虚構	母をおもう	ははをおもう	八木重吉		虚構の時空	
406	5	2002	11	d.特講・虚構	北の春	きたのはる	山田洋次		虚構の時空	
407	5	2002	11	d.特講・虚構	白い馬	しろいうま	津川嘉郎		形象	変身する形象
408	5	2002	11	d.特講・虚構	馬でかければ	うまでかければ	津川嘉郎		形象	変身する形象
409	5	2002	11	d.特講・虚構	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん		形象	変身する形象
410	5	2002	11	d.特講・虚構	明日	あす	魯迅		意味	
411	5	2002	11	d.特講・虚構	小さな出来事	ちいさなできごと	魯迅		意味	
412	5	2002	11	d.特講・虚構	故郷	こきょう	魯迅		意味	
413	5	2002	12	d.特講・形象	×	×			虚構の時空	形象と場・筋
414	5	2002	12	d.特講・形象	あかいふうせん	あかいふうせん			形象	変身する形象
415	5	2002	12	d.特講・形象	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介		形象	変身する形象
416	5	2002	12	d.特講・形象	白い馬	しろいうま	津川嘉郎		形象	変身する形象
417	5	2002	12	d.特講・形象	鉄棒	てつぼう	村野四郎		形象	変身する形象

418	5	2002	12	d.特講・形象	ナワ飛びする少女	なわとびするしょうじょ	橋本浩	形象	変身する形象
419	5	2002	12	d.特講・形象	不思議な不思議な長靴	ふしぎなふしぎな	佐藤さとる	形象	変身する形象
420	5	2002	12	d.特講・形象	海の若者	うみのわかもの	津島隆夫	形象	変身する形象
421	5	2002	12	d.特講・形象	鹿	しか	谷野稔	形象	変身する形象
422	5	2002	12	d.特講・形象	野の馬	ののうま	今江祥智	形象	変身する形象
423	5	2002	12	d.特講・形象	赤い繭	あかいまゆ	安部公房	形象	変身する形象
424	5	2002	12	d.特講・形象	菊の花	きくのはな	津島隆夫	形象	変身する形象
425	5	2002	12	d.特講・形象	ねずみ	ねずみ	辻本良一	形象	変身する形象
426	5	2002	12	d.特講・形象	土	つち	三好達治	形象	空間が変身
427	5	2002	12	d.特講・形象	度十公園林	けんじゅうこうえんりん	宮沢賢治	形象	空間が変身
428	5	2002	12	d.特講・形象	だんごじぞう	だんごじぞう	西郷竹彦	形象	空間が変身
429	5	2002	12	d.特講・形象	つけもののおもしろ	つけもののおもしろ	まどみちお	形象	複合形象
430	5	2002	12	d.特講・形象	水すまし	みずすまし	津島隆夫	形象	複合形象
431	5	2002	12	d.特講・形象	つくだ煮の小魚	つくだにのこぎかな	津島隆夫	形象	複合形象
432	5	2002	12	d.特講・形象	空気	くいき	まどみちお	形象	複合形象
433	5	2002	12	c.実践研	スイミー	すいミー	レオレオニ	意味	条件
434	5	2002	12	c.実践研	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	意味	象徴
435	5	2002	12	c.実践研	海の命	うみのいのち	立松和平	意味	象徴
436	5	2002	12	c.実践研	x	x		意味	授業
437	5	2003	2	d.特講・形象	スコップ	すこっぷ	津島隆夫	形象	複合形象
438	5	2003	2	d.特講・形象	雪	ゆき	三好達治	形象	複合形象
439	5	2003	2	d.特講・形象	鹿と獅子	さいとしし	津島隆夫	形象	時間が変身
440	5	2003	2	d.特講・形象	おと	おと	工藤直子	形象	かげ・うらの形象
441	5	2003	2	d.特講・形象	おきやくさま	おきやくさま	津島隆夫	形象	かげ・うらの形象
442	5	2003	2	d.特講・形象	ゆきのなかのこいぬ	ゆきのなかのこいぬ	すずきとしちか	形象	かげ・うらの形象
443	5	2003	2	d.特講・形象	月夜のみみずく	つきよのみみずく	津島隆夫	形象	かげ・うらの形象
444	5	2003	2	d.特講・形象	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	形象	かげ・うらの形象
445	5	2003	2	d.特講・形象	うた	うた	津島隆夫	形象	複合形象
446	5	2003	2	d.特講・形象	五月の雉	ごがつのきじ	津島隆夫	形象	複合形象
447	5	2003	2	d.特講・形象	大阿蘇	おおあそ	三好達治	形象	複合形象
448	5	2003	2	d.特講・形象	おくのほそ道	おくのほそみち	松尾芭蕉	虚構	
449	5	2003	2	d.特講・形象	字を讀む子供	じをよむこども	黒井千次	表現	表現とは
450	5	2003	3	e.関連・系統研	x	x		教育情勢・学力	
451	5	2003	3	e.関連・系統研	x	x		ことば・表現	ことばは媒体
452	5	2003	4	d.特講・形象	x	x		形象	人物形象
453	5	2003	4	d.特講・形象	故郷	こきょう	魯迅	虚構	虚構の時空
454	5	2003	4	d.特講・形象	x	x		ことば・表現	アポロ論
455	5	2003	4	d.特講・形象	火の記憶	ひのきおく	津島隆夫	形象	複合形象
456	5	2003	4	d.特講・形象	せみ	せみ	有馬敏	形象	複合形象
457	5	2003	4	d.特講・形象	まつら	まつら	津島隆夫	形象	複合形象
458	5	2003	4	d.特講・形象	鉛の卵	なまりのへい	別掲	形象	複合形象
459	5	2003	4	d.特講・形象	六月	ろくがつ	津島隆夫	形象	複合形象
460	5	2003	4	d.特講・形象	その下の青い世界で	そのしたのあおい	津島隆夫	形象	複合形象
461	5	2003	4	d.特講・形象	おと	おと	工藤直子	形象	形象の相関
462	5	2003	4	d.特講・形象	おきやくさま	おきやくさま	津島隆夫	形象	形象の相関
463	5	2003	5	c.実践研	x	x		意味づけ	
464	5	2003	7	d.特講・構造論	x	x		形象	文芸の単位は形象
465	5	2003	7	d.特講・構造論	おと	おと	工藤直子	形象	形象の相関
466	5	2003	7	d.特講・構造論	かもつれっしゃ	かもつれっしゃ	津島隆夫	形象	形象の相関
467	5	2003	7	d.特講・構造論	おきやくさま	おきやくさま	津島隆夫	形象	形象の相関
468	5	2003	7	d.特講・構造論	キリン	きりん	まどみちお	形象	形象の相関
469	5	2003	7	d.特講・構造論	x	x		作品の構造	筋・構成・場面
470	5	2003	7	d.特講・構造論	春のうた	はるのうた	草野心平	作品の構造	構成
471	5	2003	7	d.特講・構造論	惣七家出一件	そうしちえいでいっけん	津島隆夫	作品の構造	構成
472	5	2003	7	d.特講・構造論	キリン	きりん	まどみちお	作品の構造	文体(作者の選択)
473	5	2003	7	d.特講・構造論	生きる	いきる	谷川俊太郎	作品の構造	題名
474	5	2003	7	d.特講・構造論	ソメコとオニ	そめことおに	斎藤隆介	作品の構造	構成・筋
475	5	2003	7	d.特講・構造論	わらぐつの中の神様	わらぐつの中の	杉みき子	作品の構造	構成・筋
476	5	2003	7	d.特講・構造論	アナートル工場へ行く	あなとーるこうばへ	タイタス	作品の構造	構成・筋
477	5	2003	7	d.特講・構造論	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	作品の構造	構成・筋
478	5	2003	10	d.特講・構造論	春のうた	はるのうた	草野心平	話体と文体	
479	5	2003	10	d.特講・構造論	理髪店にて	りはつてんにて	津島隆夫	話体と文体	
480	5	2003	10	d.特講・構造論	夕方の三十分	ゆうがたのさんじゅう	津島隆夫	話体と文体	
481	5	2003	10	d.特講・構造論	水	みづ	津島隆夫	作品の構造	筋・構成・場面
482	5	2003	12	d.特講・構造論	菊の花	きくのはな	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
483	5	2003	12	d.特講・構造論	大きな白樺	おおきなしらかば	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
484	5	2003	12	d.特講・構造論	女工哀史	じょこうあいし	木下順二	作品の構造	筋と意味
485	5	2003	12	d.特講・構造論	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねとかしこいこ	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
486	5	2003	12	d.特講・構造論	海辺の生と死	うみべのせいとし	島尾マホ	作品の構造	筋と意味
487	5	2003	12	d.特講・構造論	赤い繭	あかいまゆ	安部公房	作品の構造	筋と意味
488	5	2003	12	d.特講・構造論	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	作品の構造	筋と意味
489	5	2003	12	d.特講・構造論	白いぼうし	しろいぼうし	あまんきみこ	作品の構造	筋と意味
490	5	2003	12	c.実践研	x	x		意味と価値	
491	5	2004	2	d.特講・構造論	x	x		筋	
492	5	2004	2	d.特講・構造論	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	作品の構造	筋と意味
493	5	2004	2	d.特講・構造論	春の子もり歌	はるのこもりうた	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
494	5	2004	2	d.特講・構造論	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	作品の構造	筋と意味
495	5	2004	2	d.特講・構造論	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねとかしこいこ	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
496	5	2004	2	d.特講・構造論	野の馬	ののうま	今江祥智	作品の構造	筋と意味
497	5	2004	2	d.特講・構造論	歌時計	うたどけい	新美南吉	作品の構造	筋と意味
498	5	2004	2	d.特講・構造論	ききみずきん	ききみずきん	木下順二	作品の構造	筋と意味
499	5	2004	2	d.特講・構造論	皇帝の新しい着物	こうていのあたらしい	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
500	5	2004	2	d.特講・構造論	八郎	はちろう	斎藤隆介	作品の構造	筋と意味
501	5	2004	2	d.特講・構造論	レナド	れなど	津島隆夫	作品の構造	筋と意味
502	6	2004	3	h.春の研修	x	x		法的人間的考察	

503	6	2004	5.c.実践研	祖母	そぼ	三好達治	形象	部分形象・全体形象
504	6	2004	5.c.実践研	五月雨や(俳句)	さみだれや	蕪村	形象	部分形象・全体形象
505	6	2004	5.c.実践研	握手	あくしゅ	井上ひさし	形象	部分形象・全体形象
506	6	2004	7.d.特講・形象	水すまし	みずすまし	清瀬純	人物論	
507	6	2004	7.d.特講・形象	たんぼぼ	たんぼぼ	川崎洋	人物論	
508	6	2004	7.d.特講・形象	あめのうた	あめのうた	桑原正志	人物論	
509	6	2004	7.d.特講・形象	けしゴム	けしごむ	まどみちお	人物論	
510	6	2004	7.d.特講・形象	せみ	せみ	有馬敏	人物論	
511	6	2004	7.d.特講・形象	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	人物論	
512	6	2004	7.d.特講・形象	スイミー	すいみー	レオレオニ	人物論	複合形象
513	6	2004	7.d.特講・形象	大造じいさんとガン	だいぞうじいさんとがん	椋鳩十	人物論	複合形象
514	6	2004	7.d.特講・形象	おおきなかぶ	おおきなかぶ	酒田洋次	人物論	
515	6	2004	7.d.特講・形象	はきはき	はきはき	工藤直子	人物論	複合形象
516	6	2004	7.d.特講・形象	かもつれっしゃ	かもつれっしゃ	有馬敏	形象	部分形象・全体形象
517	6	2004	7.d.特講・形象	祖母	そぼ	三好達治	形象	部分形象・全体形象
518	6	2004	7.d.特講・形象	月夜の浜辺	つきよのはまべ	津原田七	形象	部分形象・全体形象
519	6	2004	7.d.特講・形象	匙	さじ	森田龍	形象	部分形象・全体形象
520	6	2004	7.d.特講・形象	手	て	桑原正志	形象	部分形象・全体形象
521	6	2004	9.d.特講・形象	柱のしるし	はしらのしるし	宮田龍	形象	部分形象・全体形象
522	6	2004	9.d.特講・形象	かぼちゃのつるが	かぼちゃのつるが	原田直友	形象	部分形象・全体形象
523	6	2004	9.d.特講・形象	われは草なり	われはくさなり	菅実穂	形象	部分形象・全体形象
524	6	2004	9.d.特講・形象	二銭銅貨	にせんどうか	桑原正志	形象	部分形象・全体形象
525	6	2004	9.d.特講・形象	はきはき	はきはき	工藤直子	形象	複合形象
526	6	2004	9.d.特講・形象	くじらぐも	くじらぐも	中川李枝子	形象	複合形象
527	6	2004	9.d.特講・形象	鉛の塀	なまりのへい	川崎洋	形象	複合形象
528	6	2004	9.d.特講・形象	握手	あくしゅ	井上ひさし	形象	部分形象・全体形象
529	6	2004	9.d.特講・形象	空気	くわき	まどみちお	形象	複合形象
530	6	2004	9.d.特講・形象	動物園の珍しい動物	どうぶつえんの	菅実穂	形象	複合形象
531	6	2004	9.d.特講・形象	かげ	かげ	新美南吉	形象	複合形象
532	6	2004	9.d.特講・形象	私を兼ねないで	わたしをたばねないで	新川静江	形象	複合形象
533	6	2004	9.d.特講・形象	スコップ	すこっぷ	山田洋次	形象	複合形象
534	6	2004	9.d.特講・形象	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	形象	複合形象
535	6	2004	11.d.特講・形象	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん	形象	複合形象
536	6	2004	11.d.特講・形象	大きな白樺	おおきなしらかば	新川静江	形象	複合形象
537	6	2004	11.d.特講・形象	羅生門	らしやうもん	芥川龍之介	形象	複合形象と部分形象・全体形象
538	6	2004	11.d.特講・形象	あまんじゃく	あまんじゃく	西郷竹彦	形象	複合形象
539	6	2004	11.d.特講・形象	夏の靴	なつのかつ	川端康成	形象	複合形象と部分形象・全体形象
540	6	2004	11.d.特講・形象	厘と獅子	さいとしし	山田洋次	形象	複合形象
541	6	2005	1.d.特講・形象	白い馬	しろいうま	横田敏子	形象	複合形象
542	6	2005	1.d.特講・形象	海辺の生と死	うみべのせいとし	島尾マホ	形象	複合形象
543	6	2005	1.d.特講・形象	つくだ煮の小魚	つくだにのこさかな	津原田七	形象	複合形象
544	6	2005	1.d.特講・形象	馬でかければ	うまでかければ	新川静江	形象	複合形象
545	6	2005	1.d.特講・形象	けれども大地は	けれどもだちは	新川静江	形象	複合形象
546	6	2005	1.d.特講・形象	うしさんうふふ	うしさんうふふ	新川静江	形象	複合形象と部分形象・全体形象
547	6	2005	1.d.特講・形象	夢十夜	ゆめじゅうや	夏目漱石	形象	複合形象
548	6	2005	1.d.特講・形象	文鳥	ぶんちょう	夏目漱石	形象	関連形象
549	6	2005	1.d.特講・形象	菊の花	きくのはな	菅実穂	形象	関連形象
550	6	2005	1.d.特講・形象	ひよこさんのにつき	ひよこさんのにつき	津原田七	形象	関連形象
551	6	2005	1.d.特講・形象	惣七家出一件	そうしちいえていっけん	津原田七	形象	関連形象
552	6	2005	3.d.特講・形象	火の記憶	ひのおきく	赤木洋子	形象	複合形象
553	6	2005	3.d.特講・形象	白いぼうし	しろいぼうし	あまんきみこ	形象	複合形象
554	6	2005	3.d.特講・形象	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	形象	複合形象
555	6	2005	3.d.特講・形象	一つのメルヘン	ひとつのめるへん	中原中也	形象	複合形象
556	6	2005	3.d.特講・形象	皇帝の新しい着物	こうていのあたらしい	芥川龍之介	形象	かげの形象
557	6	2005	3.d.特講・形象	推理	すいり	藤村保典	形象	かげの形象
558	6	2005	3.d.特講・形象	腕腕	かたうで	川端康成	形象	関連形象と部分・全体形象
559	6	2005	3.h.春の研修	わにのおじいさんのたから	わにのおじいさん	川崎洋	形象	複合形象
560	6	2005	3.h.春の研修	三つのお願	みつのおねがい	新川静江	必然と偶然	ファンタジーかユーモアか
561	6	2005	4.d.特講・形象	白い馬	しろいうま	横田敏子	形象	複合形象
562	6	2005	4.d.特講・形象	白いぼうし	しろいぼうし	あまんきみこ	形象	複合形象
563	6	2005	4.d.特講・形象	一つのメルヘン	ひとつのめるへん	中原中也	形象	複合形象
564	6	2005	4.d.特講・形象	赤い繭	あかいまゆ	津原田七	形象	複合形象
565	6	2005	4.d.特講・形象	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	形象	複合形象
566	6	2005	4.d.特講・形象	菊の花	きくのはな	菅実穂	形象	複合形象
567	6	2005	4.d.特講・形象	くまさん	くまさん	まどみちお	形象	複合形象
568	6	2005	4.d.特講・形象	けしゴム	けしごむ	まどみちお	形象	複合形象
569	6	2005	4.d.特講・形象	石	いし	草野心平	形象	複合形象
570	6	2005	4.d.特講・形象	わにのおじいさんのたから	わにのおじいさん	川崎洋	形象	複合形象
571	6	2005	7.d.特講・形象	森へ	もりへ	津原田七	筋	虚構の筋
572	6	2005	7.d.特講・形象	海の若者	うみのわかもの	津原田七	形象	複合形象
573	6	2005	7.d.特講・形象	鉄棒	てつぼう	村野四郎	形象	複合形象
574	6	2005	7.d.特講・形象	風の強い日	かぜのつよいひ	山下明生	形象	複合形象
575	6	2005	8.d.特講・入子型	藁箆	たんす			話体と文体
576	6	2005	8.d.特講・入子型	夕方の三十分	ゆうがたのさん	新川静江		話体と文体
577	6	2005	8.d.特講・入子型	ミモコの独立	みみこのどくりつ	山田洋次		話体と文体
578	6	2005	8.d.特講・入子型	北の春	きたのはる	丸山薫		話体と文体
579	6	2005	8.d.特講・入子型	理髪店にて	りはつてんにて	桑原正志		話体と文体
580	6	2005	8.d.特講・入子型	椅子	いす			話体と文体
581	6	2005	10.d.特講・入子型	おうむ	おうむ	鶴見正夫		話体と文体
582	6	2005	10.d.特講・入子型	キリン	きりん	まどみちお		話体と文体
583	6	2005	10.d.特講・入子型	いるか	いるか	谷川俊太郎		話体と文体
584	6	2005	10.d.特講・入子型	およぐひと	およぐひと	津原田七		話体と文体
585	6	2005	10.d.特講・入子型	おそろしい夕方	おそろしいゆうがた	津原田七		話体と文体

586	6	2005	10	d.特講・入子型	石	いし	草野心平	話体と文体	
587	6	2005	10	d.特講・入子型	せみ	せみ	有馬敏	話体と文体	
588	6	2005	10	d.特講・入子型	鳶百態	からすひやくたい	宮沢賢治	話体と文体	
589	6	2005	10	d.特講・入子型	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん	話体と文体	
590	6	2005	10	d.特講・入子型	白い馬	しろいうま	斎藤隆子	話体と文体	
591	6	2005	10	d.特講・入子型	惣七家出一件	そうしちいえていつけん	柴田隆雄	話体と文体	
592	6	2005	10	d.特講・入子型	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆子	話体と文体	
593	6	2005	10	d.特講・入子型	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	松本隆雄	話体と文体	
594	6	2005	10	d.特講・入子型	やまなし	やまなし	宮沢賢治	話体と文体	
595	6	2005	10	d.特講・入子型	つくだ煮の小魚	つくだにのこぎかな	柴田隆雄	話体と文体	
596	6	2005	10	d.特講・入子型	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	話体と文体	
597	6	2005	12	d.特講・入子型	x	x		相変移	
598	6	2005	12	d.特講・入子型	山頂から	さんちょうから	小野十三郎	話体と文体	
599	6	2005	12	d.特講・入子型	はくさいぎしぎし	はくさいぎしぎし	武蔵悦子	話体と文体	
600	6	2005	12	d.特講・入子型	祖母	そぼ	柴田隆雄	話体と文体	
601	6	2005	12	d.特講・入子型	かがみのそばをとるとき	かがみのそばをとるとき	柴田隆雄	話体と文体	
602	6	2005	12	d.特講・入子型	ゆきのなかのこいぬ	ゆきのなかのこいぬ	すずきとしちか	話体と文体	
603	6	2005	12	d.特講・入子型	おうむ	おうむ	斎藤隆子	話体と文体	
604	6	2005	12	d.特講・入子型	なのだソング	なのだそんぐ	柴田隆雄	話体と文体	
605	6	2005	12	d.特講・入子型	ひばりのす	ひばりのす	柴田隆雄	話体と文体	
606	6	2005	12	d.特講・入子型	バツタのうた	ばったのうた	柴田隆雄	話体と文体	
607	6	2005	12	c.実践研	x	x		形象	かげ・うらの形象
608	6	2006	3	d.特講・入子型	鉄棒	てつぼう	村野四郎	話体と文体	ファンタジー(相補)
609	6	2006	3	d.特講・入子型	一つのメルヘン	ひとつのめるへん	中原中也	話体と文体	ファンタジー(相補)
610	6	2006	3	d.特講・入子型	水のなかで水がうたう歌	みずのなかでみずが	柴田隆雄	話体と文体	ファンタジー(相補)
611	6	2006	3	d.特講・入子型	のはらうた	のはらうた	工藤直子	話体と文体	
612	6	2006	5	c.実践研	x	x		相補論	
613	6	2006	6	d.特講・入子型	みずたまり	みずたまり	斎藤隆子	話体と文体	
614	6	2006	6	d.特講・入子型	のはらうた	のはらうた	工藤直子	話体と文体	意味
615	6	2006	6	d.特講・入子型	つけもののおもし	つけもののおもし	まどみちお	筋	
616	6	2006	6	d.特講・入子型	五月	ごがつ	石牟礼道子	作品の構造	
617	7	2006	7	d.特講・形象	五月	ごがつ	石牟礼道子	解釈	
618	7	2006	7	d.特講・形象	棒	ぼう	柴田隆雄	形象	複合形象
619	7	2006	7	d.特講・形象	一つのメルヘン	ひとつのめるへん	中原中也	形象	相補
620	7	2006	7	d.特講・形象	ピノキオ	びのきお	柴田隆雄	形象	複合形象
621	7	2006	7	d.特講・形象	棒	ぼう	柴田隆雄	形象	複合形象
622	7	2006	9	d.特講・意味	x	x		意味	ことばの意味
623	7	2006	9	d.特講・意味	とる	とる		意味	
624	7	2006	9	d.特講・意味	おきやくさま	おきやくさま	徳山善太郎	意味	形象の相関
625	7	2006	9	d.特講・意味	おちば	おちば	徳山善太郎	意味	価値
626	7	2006	9	d.特講・意味	手紙	てがみ	柴田隆雄	意味	
627	7	2006	9	d.特講・意味	おと	おと	工藤直子	意味	相関
628	7	2006	9	d.特講・意味	あかん	あかん	斎藤隆子	意味	かけことば
629	7	2006	9	d.特講・意味	雪の日	ゆきのひ	柴田隆雄	意味	
630	7	2006	9	d.特講・意味	祖母	そぼ	三好達治	意味	解釈の妥当性・整合性
631	7	2006	9	d.特講・意味	われは草なり	われはくさなり	斎藤隆子	意味	部分形象・全体形象
632	7	2006	9	d.特講・意味	コレガ人間ナノデス	これがにんげんなのです	原良喜	意味	かげの形象
633	7	2006	9	d.特講・意味	つけもののおもし	つけもののおもし	まどみちお	意味	変換
634	7	2006	9	d.特講・意味	かぼちゃのつるが	かぼちゃのつるが	原田直友	意味	
635	7	2006	9	d.特講・意味	キリン	きりん	まどみちお	意味	
636	7	2006	9	d.特講・意味	村の人口	むらのじんこう	原田直友	意味	
637	7	2006	9	d.特講・意味	動物たちの恐ろしい夢の	どうぶつたちのおそろしい	川崎洋	意味	
638	7	2006	11	c.憲法学習会	x	x		小林直樹先生	
639	7	2006	12	d.特講・意味	スイミー	すいみー	レオレオニ	意味	解釈の妥当性・整合性
640	7	2006	12	d.特講・意味	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	柴田隆雄	意味	価値
641	7	2006	12	d.特講・意味	おじさんのかさ	おじさんのかさ	佐野洋子	意味	価値
642	7	2006	12	d.特講・意味	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	意味	
643	7	2006	12	d.特講・意味	アレクサンダとぜんまいね	あれくさんだと	タイタス	意味	
644	7	2006	12	d.特講・意味	歌時計	うたどけい	新美南吉	意味	
645	7	2006	12	d.特講・意味	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	意味	
646	7	2006	12	c.実践研	x	x		意味づけ	
647	7	2007	1	d.特講・意味	白いぼうし	しろいぼうし	あまんきみこ	意味	
648	7	2007	1	d.特講・意味	めめめんたま	めめめんたま	西郷竹彦	意味	
649	7	2007	1	d.特講・意味	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	意味	
650	7	2007	1	d.特講・意味	あとかくしの雪	あとかくしのゆき	木下順二	意味	意味づけの戦い
651	7	2007	1	d.特講・意味	皇帝の新しい着物	こうていのあたらしい	柴田隆雄	意味	
652	7	2007	4	d.特講・入子型	友子と母と妻と	ともことははと	石峰意彦	相変移	
653	7	2007	4	d.特講・入子型	足	あし	川崎洋	話体と文体	意味づけ
654	7	2007	5	c.実践研	x	x		解釈	解釈の妥当性・整合性
655	7	2007	6	d.特講・形象	マグリット絵画	まぐりつと	ルネマグリット	形象	複合形象
656	7	2007	6	d.特講・形象	山月記	さんげつき	中島敦	形象	複合形象
657	7	2007	6	d.特講・形象	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	解釈	解釈の妥当性・整合性
658	7	2007	8	d.特講・入子型	山月記	さんげつき	中島敦	相変移	
659	7	2007	8	d.特講・入子型	飛込	とびこみ	柴田隆雄	相変移	
660	7	2007	8	d.特講・入子型	ボクの反射	ぼくのはんしゃ		相変移	
661	7	2007	8	d.特講・入子型	骨	ほね	中島敦	相変移	
662	7	2007	11	d.特講・虚構	寄せ絵(絵画)	よせえ	歌川国芳	形象	複合形象
663	7	2007	11	d.特講・虚構	字を読む子供	じをよむこども	黒井千次	作品の構造	
664	7	2007	11	d.特講・虚構	こんぎつね	こんぎつね	新美南吉	虚構の方法	「」かぎ
665	7	2007	11	d.特講・虚構	棒	ぼう	柴田隆雄	虚構の方法	複合形象
666	7	2007	11	d.特講・虚構	べいう'おん上等兵	べいう'おんじょうとうへい	柴田隆雄	虚構の方法	表記 呼称
667	7	2007	12	c.実践研	おおきなかぶ	おおきなかぶ	柴田隆雄	虚構の方法	異類の人物 順序
668	7	2007	12	c.実践研	海の命	うみのいのち	立松和平	虚構の方法	三者の世界観の違い
669	7	2007	12	c.実践研	こんぎつね	こんぎつね	新美南吉	虚構の方法	複合形象 視角の転換

670	7	2007	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	虚構の方法	話者と文体 話者の設定
671	7	2007	12	c.実践研	棒	ぼう	安部公房	虚構の方法	複合形象 類型化
672	7	2007	12	c.実践研	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	虚構の方法	虚構の美
673	7	2007	12	c.実践研	お手紙	おてがみ	ローベル	虚構の方法	ユーモア
674	7	2007	12	c.実践研	おおきななぶ	おおきななぶ	西野あかね	虚構の方法	類型化
675	7	2007	12	c.実践研	一つの花	ひとつのはな	今西佑介	虚構の方法	虚構の体験
676	7	2007	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	虚構の方法	関連 コード 会話文
677	7	2007	12	c.実践研	大造じいさんとガン	だいぞうじいさんとが	椋鳩十	虚構の方法	文体 相関
678	7	2008	2	d.特講・入子型	啄木短歌	たくぼくたんか	石川啄木	作家の作風	
679	7	2008	3	d.特講・入子型	啄木短歌	たくぼくたんか	石川啄木	話者と文体	
680	7	2008	3	d.特講・入子型	やまなし	やまなし	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
681	7	2008	3	d.特講・入子型	鳥をとるやなぎ	とりをとるやなぎ	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
682	7	2008	3	d.特講・入子型	どんぐりと山猫	どんぐりとやまねこ	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
683	7	2008	3	h.春の研修	x	x		新指導要領	
684	7	2008	5	c.実践研	やまなし	やまなし	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
685	8	2008	6	d.特講・賢治	水仙月の四日	すいせんづきのよっか	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
686	8	2008	6	d.特講・賢治	よだかの星	よだかのほし	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
687	8	2008	6	d.特講・賢治	二十六夜	にじゅうろくや	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
688	8	2008	6	d.特講・賢治	風のいい火山弾	きのいいかざんだん	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
689	8	2008	6	d.特講・賢治	筆トランク	かわとらんく	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
690	8	2008	6	d.特講・賢治	猫の事務所	ねこのじむしょ	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
691	8	2008	8	d.特講・賢治	鹿踊りのはじまり	ししおどりのはじまり	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
692	8	2008	8	d.特講・賢治	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
693	8	2008	8	d.特講・賢治	ざしき童子のはなし	ざしきわらしのはなし	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
694	8	2008	8	d.特講・賢治	なめとこ山の熊	なめとこやまのくま	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
695	8	2008	8	d.特講・賢治	雷渡り	ゆきわたり	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
696	8	2008	9	d.特講・入子型	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	話者と文体	
697	8	2008	9	d.特講・入子型	羅生門	らしやうもん	芥川龍之介	話者と文体	
698	8	2008	9	d.特講・入子型	城之崎にて	きのさきにて	志賀直哉	話者と文体	
699	8	2008	11	d.特講・賢治	二人の役人	ふたりのやくにん	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
700	8	2008	11	d.特講・賢治	谷	たに	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
701	8	2008	11	d.特講・賢治	インドラの網	いんどのらあみ	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
702	8	2008	12	c.実践研	お手紙	おてがみ	ローベル	虚構の方法	人物の設定
703	8	2008	12	c.実践研	ゆきのなかのこいぬ	ゆきのなかのこいぬ	すずきとしか	虚構の方法	一方的な語り
704	8	2008	12	c.実践研	ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり	あまんきみこ	虚構の方法	共同体のドラマ
705	8	2008	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	話者と文体	
706	8	2008	12	c.実践研	山椒魚	さんしょうお	井伏鱒二	話者と文体	
707	8	2008	12	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	話者と文体	
708	8	2008	12	c.実践研	x	x		指導要領批判	
709	8	2009	1	d.特講・入子型	ずるいきつねとかしこいこ	ずるいきつねと	宮沢賢治	話者と文体	
710	8	2009	1	d.特講・入子型	とびこめ	とびこめ	宮沢賢治	話者と文体	
711	8	2009	1	d.特講・入子型	虚十公園林	けんじゅうこうえんりん	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
712	8	2009	1	d.特講・入子型	ひよこさんのにつき	ひよこさんのにつき	宮沢賢治	意味づけ	相関
713	8	2009	1	d.特講・入子型	なまけもの時計	なまけものどけい	佐藤さとる	意味づけ	価値
714	8	2009	1	d.特講・入子型	おじさんのかさ	おじさんのかさ	佐野洋子	意味づけ	価値
715	8	2009	3	d.特講・賢治	風の又三郎	かぜのまたさぶろう	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
716	8	2009	4	d.特講・賢治	風の又三郎	かぜのまたさぶろう	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
717	8	2009	5	c.実践研	x	x		話者と文体	
718	8	2009	5	c.実践研	きりん	きりん	まどみちお	話者と文体	
719	8	2009	5	c.実践研	きもち	きもち	谷川俊太郎	話者と文体	
720	8	2009	5	c.実践研	であるとあるで	であるとあるで	谷川俊太郎	話者と文体	
721	8	2009	5	c.実践研	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん	話者と文体	
722	8	2009	10	d.特講・入子型	山月記	さんげつぎ	中島敦	複合形象	「」かぎ
723	8	2009	10	d.特講・入子型	から	から	宮入黎子	話者と文体	
724	8	2009	10	d.特講・入子型	鉄棒	てつぼう	村野四郎	話者と文体	
725	8	2009	11	d.特講・入子型	おれはかまきり	おれはかまきり	工藤直子	相変移	
726	8	2009	11	d.特講・入子型	春のうた	はるのうた	草野心平	相変移	
727	8	2009	11	d.特講・入子型	吾輩は猫である	わがはいはねこである	夏目漱石	相変移	
728	8	2009	11	d.特講・入子型	春のうた	はるのうた	草野心平	話者と文体	
729	8	2009	11	d.特講・入子型	から	から	宮入黎子	話者と文体	
730	8	2009	11	d.特講・入子型	おうむ	おうむ	鶴見正夫	話者と文体	
731	8	2009	11	d.特講・入子型	村の人口	むらのじんこう	原田直友	話者と文体	
732	8	2009	11	d.特講・入子型	すもう	すもう	源田徳夫	話者と文体	
733	8	2009	11	d.特講・入子型	鉄棒	てつぼう	村野四郎	話者と文体	
734	8	2009	11	d.特講・入子型	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん	話者と文体	
735	8	2009	11	d.特講・入子型	スポーツ	すぽーつ	鶴見正夫	話者と文体	
736	8	2009	12	c.実践研	かたつむり	かたつむり	宮沢賢治	話者と文体	
737	8	2009	12	c.実践研	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	話者と文体	
738	8	2009	12	c.実践研	狂人日記	きやうじんにつき	魯迅	話者と文体	
739	8	2009	12	c.実践研	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	話者と文体	
740	8	2009	12	c.実践研	高瀬舟	たかせぶね	森鴎外	教材解釈	
741	8	2010	2	d.特講・入子型	のはらうた(6編)	のはらうた	工藤直子	話者と文体 作風	
742	8	2010	2	d.特講・入子型	人魚のくつ	にんぎょのくつ	立原えりか	話者と文体	
743	8	2010	2	d.特講・入子型	かげ	かげ	新美南吉	話者と文体	
744	8	2010	3	d.特講・入子型	正法眼蔵	しょうほうがんぞう	道元	相補論	
745	8	2010	3	d.特講・入子型	読者はどこにいるのか	どくしゃはどこに	石原千秋	相補論	
746	8	2010	5	c.実践研	x	x		典型	
747	8	2010	5	c.実践研	をりとりて(俳句)	をりとりて	蛇笏	表記	
748	8	2010	5	c.実践研	やまなし	やまなし	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
749	8	2010	5	d.特講・漱石	夢十夜	ゆめじゅうや	夏目漱石	話者と文体	「」かぎ
750	8	2010	5	d.特講・漱石	蛇	へび	夏目漱石	話者と文体	「」かぎ
751	8	2010	5	d.特講・漱石	ケーベル先生	ケーベルせんせい	夏目漱石	話者と文体	「」かぎ
752	8	2010	7	d.特講・入子型	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん	話者と文体	
753	8	2010	7	d.特講・入子型	土	つち	三好達治	話者と文体	
754	8	2010	7	d.特講・入子型	村の人口	むらのじんこう	原田直友	話者と文体	

755	8	2010	7	d.特講・入子型	大阿蘇	おおあそ	三好達治	語体と文体	
756	9	2010	9	d.特講・入子型	最初の記憶	さいしょのきおく	徳永直	相変移	
757	9	2010	9	d.特講・入子型	水のなかで水がうたう歌	みずのなかでみずが	徳永直	相変移	
758	9	2010	9	d.特講・入子型	走れメロス	はしれめろす	太宰治	相変移	
759	9	2010	9	d.特講・入子型	空気	くき	まどみちお	相変移	
760	9	2010	10	d.特講・入子型	おうむ	おうむ	徳永直	相変移	
761	9	2010	10	d.特講・入子型	おと	おと	工藤直子	相変移	
762	9	2010	10	d.特講・入子型	きもち	きもち	谷川俊太郎	語体と文体	
763	9	2010	10	d.特講・入子型	天	てん	山之口獺	語体と文体	
764	9	2010	10	d.特講・入子型	水のなかで水がうたう歌	みずのなかでみずが	徳永直	語体と文体	
765	9	2010	10	d.特講・入子型	山月記	さんげつき	中島敦	虚構の方法	呼称
766	9	2010	10	d.特講・入子型	最初の記憶	さいしょのきおく	徳永直	虚構の方法	関連
767	9	2010	12	d.特講・入子型	女工哀史	じょこうあいし	木下順二	語体と文体	「」かぎ 呼称
768	9	2010	12	d.特講・入子型	柿	かき	夏目漱石	語体と文体	声喩 比喩
769	9	2010	12	d.特講・入子型	人間	にんげん	夏目漱石	語体と文体	題名
770	9	2010	12	d.特講・入子型	点滴	てんてき	井伏鱒二	語体と文体	声喩
771	9	2010	12	d.特講・入子型	ケーベル先生	ケーベルせんせい	夏目漱石	語体と文体	「」かぎ
772	9	2010	12	d.特講・入子型	クレイグ先生	くれいぐせんせい	夏目漱石	語体と文体	「」かぎ
773	9	2010	12	c.実践研	x	x		視点の文図	
774	9	2010	12	c.実践研	x	x		虚構の方法	
775	9	2011	3	d.特講・漱石	夢十夜	ゆめじゅうや	夏目漱石	語体と文体	「」かぎ
776	9	2011	3	d.特講・漱石	霧	きり	夏目漱石	語体と文体	象徴
777	9	2011	3	d.特講・漱石	文鳥	ぶんちよう	夏目漱石	語体と文体	「」かぎ 比喩
778	9	2011	4	d.特講・入子型	啄木短歌	たくぼくたんか	石川啄木	作家の作風	表現の形式・内容
779	9	2011	5	c.実践研	お手紙	おてがみ	ローベル	寓話	
780	9	2011	5	c.実践研	どうぶつの赤ちゃん	どうぶつのおかちゃん	ますいみつこ	説明文	観点と着眼点 虚構の方法
781	9	2011	5	c.実践研	川とノリオ	かわとのりお	いぬいとみこ	比喩	
782	9	2011	6	d.特講・入子型	変な音	へんなおと	夏目漱石	語体と文体	「」かぎ 題名 記号
783	9	2011	6	d.特講・入子型	船玉闘争	あめだまどうそう	小林多喜二	作家の作風	
784	9	2011	8	d.特講・入子型	変な音	へんなおと	夏目漱石	語体と文体	
785	9	2011	8	d.特講・入子型	夏の靴	なつのかつ	川端康成	語体と文体 作風	
786	9	2011	8	d.特講・入子型	富岳百景	ふがくひゃっけい	太宰治	語体と文体	
787	9	2011	10	d.特講・鴉外	三つのお願	みつつのおねがい	徳永直	偶然と必然	
788	9	2011	10	d.特講・鴉外	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	偶然と必然	
789	9	2011	10	d.特講・鴉外	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	偶然と必然	
790	9	2011	10	d.特講・鴉外	高瀬舟	たかせぶね	森鷗外	教材解釈	
791	9	2011	10	d.特講・鴉外	じいさんばあさん	じいさんばあさん	森鷗外	教材解釈	
792	9	2011	12	c.実践研	x	x		文芸研方式	
793	9	2011	12	c.実践研	くじらぐも	くじらぐも	中川李枝子	語体と文体	虚構の方法 ことば・表現
794	9	2011	12	c.実践研	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	語体と文体	
795	9	2011	12	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	語体と文体	「」かぎ
796	9	2011	12	c.実践研	x	x		道徳教育	
797	9	2011	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	虚構の方法	相関
798	10	2012	4	j.サークル	白葉ぎしぎし	はくさいぎしぎし	武蔵悦子	実践(上西)	
799	10	2012	4	j.サークル	山頂から	さんちょうから	小野十三郎	実践(上西)	
800	10	2012	4	j.サークル	春のうた	はるのうた	草野心平	実践(上西)	
801	10	2012	4	j.サークル	やい、とかげ	やいとかげ	徳永直	実践(辻)	
802	10	2012	5	c.実践研	x	x		作文指導	
803	10	2012	5	c.実践研	x	x		典型化	
804	10	2012	5	c.実践研	うちのなまくらさん	うちのなまくらさん	徳永直	二相ゆらぎ	
805	10	2012	5	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	二相ゆらぎ	
806	10	2012	5	c.実践研	x	x		虚構	学力テスト 伝達性
807	10	2012	7	d.特講・認識表現	花いっぱいになあれ	はないっぱいになあれ	松谷みよ子	声喩 偶然と必然	
808	10	2012	7	d.特講・認識表現	三つのお願	みつつのおねがい	徳永直	偶然と必然 相関	
809	10	2012	7	d.特講・認識表現	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	相関	見かけの相関 本当の相関
810	10	2012	10	d.特講・作体語体	グスコンブドリの伝記	ぐすこんぶどりのでんき	宮沢賢治	二相ゆらぎ	
811	10	2012	10	d.特講・作体語体	窓	まど	草野心平	語体と文体	題名
812	10	2012	10	d.特講・作体語体	ゆうひのてがみ	ゆうひのてがみ	のろさかん	語体と文体	
813	10	2012	10	d.特講・作体語体	球根たち	きゅうこんたち	徳永直	語体と文体	表記
814	10	2012	10	d.特講・作体語体	雑草	ざっそう	北川彦彦	語体と文体	表記
815	10	2012	10	d.特講・作体語体	いるか	いるか	谷川俊太郎	語体と文体	表記
816	10	2012	10	d.特講・作体語体	であるとあるで	であるとあるで	谷川俊太郎	語体と文体	
817	10	2012	10	d.特講・作体語体	魔術	まじゅつ	芥川龍之介	語体と文体	題名 設定
818	10	2012	12	c.実践研	くじらぐも	くじらぐも	中川李枝子	語体と文体	複合象徴
819	10	2012	12	c.実践研	お手紙	おてがみ	ローベル		人物と登場人物
820	10	2012	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	語体と文体	
821	10	2012	12	c.実践研	x	x		作文指導	
822	10	2012	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	文芸の美	
823	10	2012	12	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	文芸の美	
824	10	2012	12	c.実践研	わらぐつの中の神様	わらぐつの中の	杉みき子	文芸の美	
825	10	2012	12	c.実践研	ちいちゃんのかげおくり	ちいちゃんのかげおくり	あまきみこ	文芸の美	
826	10	2012	12	c.実践研	大遣じいさんとガン	だいせうじいさんとガン	椋鳩十	語体と文体	
827	10	2012	12	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	条件	主体と客体
828	10	2012	12	c.実践研	川とノリオ	かわとのりお	いぬいとみこ	語体と文体	ほのめかした文体
829	10	2012	12	c.実践研	千年の釘にいとむ	せんねんのくぎにいとむ	徳永直	説明文	
830	10	2012	12	c.実践研	注文の多い料理店	ちゅうもんのおおい	宮沢賢治	文芸の美	
831	10	2012	12	c.実践研	たぬきの糸車	たぬきのいとぐるま	岸なみ	性と相	
832	10	2013	1	j.サークル	きつねのおきやくさま	きつねのおきやくさま	あまきみこ	上西さん対談	
833	10	2013	1	j.サークル	アレクサンダーとぜんまい	あれくさんだつぜんまい	レオレオニ	文芸の美	
834	10	2013	2	k.UD研	x	x			
835	10	2013	2	d.特講・作体語体	魔術	まじゅつ	芥川龍之介	語体と文体	ダッシュ
836	10	2013	2	d.特講・作体語体	正義派	せいぎは	志賀直哉	語体と文体	ダッシュ 小見出し
837	10	2013	2	d.特講・作体語体	土左日記	とさ日記	紀貫之	語体と文体	作者と筆者
838	10	2013	2	d.特講・作体語体	狂人日記	きやうにんにつき	魯迅	語体と文体	作者と筆者
839	10	2013	2	d.特講・作体語体	舌巻は猫である	わがはいはねこである	夏目漱石	語体と文体	作者と筆者

840	10	2013	2	d.特講・作体語体	焼け跡のイエス	やけあとのいえす	石川淳	語体と文体	場面とは
841	10	2013	2	d.特講・作体語体	x	x			登場人物とは
842	10	2013	2	j.サークル	おにたのぼうし	おにたのぼうし	新美南吉	提案(上西)	
843	10	2013	3	j.サークル	うつくしいことば	うつくしいことば	まどみちお	提案(辻)	
844	10	2013	3	j.サークル	空気	くつき	まどみちお	提案(辻)	
845	10	2013	4	j.サークル	x	x		学級開き	
846	10	2013	4	d.特講・作体語体	字を読む子供	じをよむこども	黒井千次	語体と文体	()山括弧
847	10	2013	4	d.特講・作体語体	x	x		語体と文体	作り手と書き手
848	10	2013	4	d.特講・作体語体	浅いつきあい	あさいつきあい	黒井千次	語体と文体	「」かぎ
849	10	2013	5	c.実践研	おおきなかぶ	おおきなかぶ	新美南吉	美と真実	
850	10	2013	5	c.実践研	くじらぐも	くじらぐも	中川幸枝子	呼称の変化	
851	10	2013	5	c.実践研	大造じいさんとガン	だいぞうじいさんとが	椋鳩十	筋	
852	10	2013	5	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	主体・客体・状況	
853	10	2013	5	c.実践研	わらくつの中の神様	わらくつの中の	杉みき子	教材研究	
854	10	2013	5	c.実践研	きょうね	きょうね	原田直友	語体と文体	相変移
855	10	2013	5	c.実践研	おうむ	おうむ	新美南吉	語体と文体	相変移
856	10	2013	5	c.実践研	狂人日記	きやうじんにっき	魯迅	語体と文体	語体と文体
857	10	2013	5	c.実践研	吾輩は猫である	わがはいはねこである	夏目漱石	語体と文体	作り手と書き手
858	10	2013	5	c.実践研	千年の釘にいでむ	せんねんのくぎにいでむ	新美南吉	典型化	
859	10	2013	5	c.実践研	川とノリオ	かわとのりお	いぬいとみこ	美と真実	
860	10	2013	5	j.サークル	すみれとあり	すみれとあり	新美南吉	教材分析	
861	10	2013	9	d.特講・作体語体	影の家	かげのいえ	黒井千次	語体と文体	ダッシュ
862	10	2013	9	d.特講・作体語体	名句の美学	めいくのびがく	新美南吉	美	視点論
863	10	2013	10	j.サークル	大造じいさんとガン	だいぞうじいさんとが	椋鳩十	前書き	
864	10	2013	11	東京学習会	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	教材分析	
865	10	2013	11	東京学習会	x	x		言語活動批判	
866	10	2013	11	j.サークル	千年の釘にいでむ	せんねんのくぎにいでむ	新美南吉	教材分析	
867	10	2013	11	j.サークル	走れメロス	はしれめろす	太宰治	教材分析	
868	10	2013	12	j.サークル	x	x		現場の状況	
869	10	2013	12	c.実践研	x	x		説明文	
870	10	2013	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちの木	斎藤隆介	語体と文体	
871	10	2013	12	c.実践研	すがたをかえる大豆	すがたをかえるだいず	新美南吉	教材解釈	
872	10	2013	12	c.実践研	x	x		認識の方法	相補・相関
873	10	2013	12	c.実践研	x	x		入子型模式図	試案4の1
874	10	2013	12	c.実践研	x	x		視点論	
875	10	2013	12	c.実践研	いなびかり(俳句)	いなびかり	橋本多佳子	視点論	
876	10	2013	12	c.実践研	かげ	かげ	新美南吉	視点論	
877	10	2013	12	c.実践研	夕鶴	ゆうづる	木下順二	教材解釈	
878	10	2013	12	c.実践研	ゆきのなかのこいぬ	ゆきのなかのこいぬ	すずきとしちか	語体と文体	相変移
879	11	2014	1	東京学習会	夕鶴	ゆうづる	木下順二	教材分析	
880	11	2014	1	d.特講・入子型	おうむ	おうむ	新美南吉	人物論	入子型模式図
881	11	2014	1	d.特講・入子型	ミケーネ	みけーね	新美南吉	人物論	変身
882	11	2014	1	d.特講・入子型	茂吉のねこ	もきちのねこ	松谷みよ子	人物論	変身
883	11	2014	1	d.特講・入子型	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	人物論	変身
884	11	2014	1	d.特講・入子型	かげ	かげ	新美南吉	人物論	「」かぎ
885	11	2014	1	d.特講・入子型	白い馬	しろいうま	新美南吉	人物論	変身
886	11	2014	1	d.特講・入子型	ポッコちゃん	ぽっこちゃん	星新一	人物論	
887	11	2014	1	d.特講・入子型	水仙月の四日	すいせんづきのよっか	宮沢賢治	人物論	
888	11	2014	1	j.サークル	ぼくのしるし	ぼくのしるし	有馬敏	実践(上西)	
889	11	2014	3	j.サークル	x	x		言語活動批判(上西)	
890	11	2014	3	東京学習会	あいうえお	あいうえお	あらいたけこ	言語の教育(詩)	
891	11	2014	3	東京学習会	いろはにっねこさん	いろはにっねこさん	阪田寛夫	言語の教育(詩)	
892	11	2014	3	東京学習会	あいたたた	あいたたた	谷川俊太郎	言語の教育(詩)	
893	11	2014	3	東京学習会	いついまいかひや	いついまいかひや	谷川俊太郎	言語の教育(詩)	
894	11	2014	3	東京学習会	ちがいくらべ	ちがいくらべ	まどみちお	言語の教育(詩)	
895	11	2014	3	東京学習会	えびさん	えびさん	関根榮一	言語の教育(詩)	
896	11	2014	3	東京学習会	おならうた	おならうた	谷川俊太郎	言語の教育(詩)	
897	11	2014	3	東京学習会	らいおん	らいおん	渡辺美智子	言語の教育(詩)	
898	11	2014	3	東京学習会	くだもの	くだもの	谷川俊太郎	言語の教育(詩)	
899	11	2014	3	東京学習会	きゅうしよく	きゅうしよく	谷川俊太郎	言語の教育(詩)	
900	11	2014	3	東京学習会	ぼくのしるし	ぼくのしるし	工藤直子	言語の教育(詩)	
901	11	2014	3	東京学習会	おさるがふねをかきました	おさるがふねを	まどみちお	言語の教育(詩)	
902	11	2014	3	東京学習会	そつとうた	そつとうた	谷川俊太郎	言語の教育(詩)	
903	11	2014	3	東京学習会	はくさいぎしぎし	はくさいぎしぎし	武蔵悦子	言語の教育(詩)	
904	11	2014	3	東京学習会	春のうた	はるのうた	草野心平	言語の教育(詩)	
905	11	2014	3	東京学習会	山頂から	さんちょうから	小野十三郎	言語の教育(詩)	
906	11	2014	3	東京学習会	風景 純銀もざいく	ふうけい	山村暮鳥	言語の教育(詩)	
907	11	2014	4	j.サークル	x	x		現場の状況	
908	11	2014	5	c.実践研	ひとつのひ	ひとつのひ	新美南吉	象徴	
909	11	2014	5	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	象徴	
910	11	2014	5	c.実践研	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	象徴	
911	11	2014	5	c.実践研	海の命	うみのいのち	立松和平	象徴	
912	11	2014	5	c.実践研	モチモチの木	もちもちの木	斎藤隆介	象徴	
913	11	2014	6	東京学習会	お手紙	おてがみ	アーノルド	教材分析	
914	11	2014	7	d.特講	ひとつのひ	ひとつのひ	新美南吉	象徴	
915	11	2014	7	d.特講	どよどよ	どよどよ	新美南吉	虚構	
916	11	2014	7	d.特講	木になった魚	きになったさかな	新美南吉	虚構	
917	11	2014	7	d.特講	かげぼうし	かげぼうし	内田百閒	ジャンル	
918	11	2014	7	d.特講	花火	はなび	内田百閒	ファンタジー	
919	11	2014	7	d.特講	東京日記	とうきょうにっき	内田百閒	虚構	
920	11	2014	7	東京学習会	川とノリオ	かわとのりお	いぬいとみこ	教材分析	
921	11	2014	9	d.特講	件	くだん	内田百閒	典型化	
922	11	2014	9	d.特講	四月の魔女	しがつのまじよ	ブラッドベリ	虚構の方法	
923	11	2014	9	d.特講	難さない	はなさない	川上弘美	典型化	
924	11	2014	9	東京学習会	大造じいさんとガン	だいぞうじいさんとが	椋鳩十	教材分析	

925	11	2014	10	東京学習会	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	教材分析	
926	11	2014	11	d特講	べいう`おん上等兵	べいう`おんじょうとうへい	井上光晴	美と真実	
927	11	2014	11	d特講	ルイス・カトウ・カトウ君	るいすかとうかとうくん	堀田善衛	美と真実	
928	11	2014	11	d特講	衣袋戸棚	いしょうとだな	トーマス・マン	二元論批判	
929	11	2014	11	d特講	オル・シュブラックの失踪	おるしゅぶらっくのしっそう	アポリネール	二元論批判	
930	11	2014	11	d特講	なぞ	なぞ	テ・ラ・マ	二元論批判	
931	11	2014	11	東京学習会	千年の釘にいでむ	せんねんのくぎにいでむ	斎藤隆介	教材分析	
932	11	2014	12	m.民教連集	x	x		日作・文教連・日文協・児言研	
933	11	2014	12	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	関連	
934	11	2014	12	c.実践研	ありの行列	ありのぎょうれつ	斎藤隆介	典型化	
935	11	2014	12	c.実践研	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	教材解釈	
936	11	2014	12	c.実践研	おにごっこ	おにごっこ		教材解釈	
937	11	2014	12	c.実践研	x	x		学習用語	
938	11	2014	12	c.実践研	x	x		二元論批判	
939	11	2014	12	c.実践研	ウナギのなぞを追って	うなぎのなぞをおって		教材解釈	
940	11	2014	12	c.実践研	千年の釘にいでむ	せんねんのくぎにいでむ	斎藤隆介	教材解釈	
941	11	2015	1	j.サークル	イナゴ	いなご	まどみちお	実践(秋山)	
942	11	2015	1	n.織	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	実践(紺野)	
943	11	2015	1	n.織	スーホの白い馬	すーほのしろいうま	大塚勇三	実践(永島)言語活動	
944	11	2015	2	n.織	x	x		道徳実践(有泉)	
945	11	2015	3	東京学習会	春のうた	はるのうた	草野心平	実践(上西)	
946	11	2015	3	東京学習会	白いぼうし	しろいぼうし	あまみきみこ	教材分析	
947	11	2015	4	探究の会	一つの花	ひとつのはな	今西佑行	教材分析(立教小・安達)	
948	11	2015	4	n.織	x	x		ほめ言葉のシャワー(紺野)	
949	11	2015	4	n.織	ふきのとう	ふきのとう	工藤直子	実践(藤根)	
950	12	2015	5	探究の会	イースター島にはなぜ	いーすたーとうには	斎藤隆介	教材分析(長崎)	
951	12	2015	5	探究の会	土	つち	三好達治	教材分析(石丸)	
952	12	2015	5	東京学習会	こまを楽しむ	こまをたのしむ		教材分析	
953	12	2015	5	東京学習会	生き物は円柱形	いきものはえんちゅうけい		教材分析	
954	12	2015	5	東京学習会	x	x		児童詩(黒水辰彦)	
955	12	2015	5	c.実践研	たぬきの糸車	たぬきのいとぐるま	岸なみ	教材解釈	
956	12	2015	5	c.実践研	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	典型化	
957	12	2015	5	c.実践研	おにごっこ	おにごっこ		教材解釈	
958	12	2015	5	c.実践研	モチモチの木	もちもちのき	斎藤隆介	教材解釈	
959	12	2015	5	c.実践研	ありの行列	ありのぎょうれつ	斎藤隆介	教材解釈	
960	12	2015	5	c.実践研	海の命	うみのいのち	立松和平	教材解釈	
961	12	2015	5	c.実践研	アンナの赤いオーバー	あんなのあかいおーばー		絵本	
962	12	2015	5	c.実践研	ごんぎつね	ごんぎつね	新美南吉	教材解釈	
963	12	2015	5	c.実践研	ウナギのなぞを追って	うなぎのなぞをおって		教材解釈	
964	12	2015	5	p.全国大学	x	x		評価について	
965	12	2015	5	p.全国大学	x	x		理論と実践について	
966	12	2015	6	探究の会	天気を予想する	てんきをよそうする		実践(土居)	
967	12	2015	6	m.民教連集	x	x		フクシマ	
968	12	2015	6	m.民教連集	x	x		道徳(渡辺雅史)	
969	12	2015	6	d.特講	小僧の神様	こぞうのかみさま	志賀直哉	呼称	
970	12	2015	6	d.特講	母の死と新しい母	ははのしとあたらしい	志賀直哉	呼称	
971	12	2015	6	d.特講	流行感冒	りゅうこうかんぼう	志賀直哉	呼称	
972	12	2015	6	d.特講	好人物の夫婦	こうじんぶつふうふ	志賀直哉	呼称	
973	12	2015	6	d.特講	小僧の神様	こぞうのかみさま	志賀直哉	構造	
974	12	2015	6	d.特講	正義派	せいぎは	志賀直哉	構造	
975	12	2015	6	q.日文協学習会	ぐりまの死	ぐりまのし	草野心平	実践検討	
976	12	2015	6	n.織	x	x		体づくり運動(有泉)	
977	12	2015	7	東京学習会	x	x		短歌・俳句	
978	12	2015	7	東京学習会	かさこじぞう	かさこじぞう	岩崎京子	教材解釈	
979	12	2015	7	r.日生連	x	x		宮城報告	
980	12	2015	9	探究の会	x	x		書くこと指導	
981	12	2015	9	探究の会	x	x		AIについて	
982	12	2015	9	東京学習会	注文の多い料理店	ちゅうもののおおい	宮沢賢治	教材解釈	
983	12	2015	9	n.織	x	x		問題解決学習	
984	12	2015	10	東京学習会	木竜うるし	もくりゅううるし	木下順二	教材解釈	
985	12	2015	10	d.特講	夢十夜	ゆめじゅうや	夏目漱石	記号「」かぎ	
986	12	2015	10	p.全国大学	x	x		理論と実践について	
987	12	2015	11	j.サークル	x	x		作文指導	
988	12	2015	12	東京学習会	スーホの白い馬	すーほのしろいうま	大塚勇三	教材解釈	
989	12	2015	12	東京学習会	x	x		作文指導	
990	12	2015	12	d.特講	x	x		名句の美学	
991	13	2015	12	c.実践研	x	x		典型化について	
992	13	2015	12	c.実践研	x	x		作文指導	
993	13	2015	12	c.実践研	森林のおくりもの	しんりんのおくりもの	富山和子	教材分析	
994	13	2015	12	c.実践研	どうぶつ園のじゅうい	どうぶつえんのじゅうい		認識の内容	
995	13	2015	12	c.実践研	どうぶつ園の赤ちゃん	どうぶつ園のあかちゃん	ますいみつこ	典型化	
996	13	2016	1	探究の会	x	x		伝記	
997	13	2016	1	j.サークル	x	x		作文(辻実践)	
998	13	2016	2	d.特講	伊豆の踊子	いづのおどりこ	川端康成		
999	13	2016	2	東京学習会	どうぶつ園の赤ちゃん	どうぶつ園のあかちゃん	ますいみつこ	典型化 表現の社会性	
1000	13	2016	2	東京学習会	どちらが生たまごでしょう	どちらがなまたまご		教材分析	
1001	13	2016	3	東京学習会	x	x		作文(辻実践)◎	
1002	13	2016	4	東京学習会	x	x		ことばあそび詩(上西)	
1003	13	2016	5	d.特講	好人物の夫婦	こうじんぶつふうふ	志賀直哉	典型的人物像	
1004	13	2016	5	d.特講	柿	かき	夏目漱石	声喩に意味	
1005	13	2016	5	d.特講	最後の一句	さいごのいっく	森鷗外	意味	
1006	13	2016	5	探究の会	時計の時間心の時間	とけいのじかんこころの		AIについて	
1007	13	2016	5	探究の会	たぬきの糸車	たぬきのいとぐるま	斎藤隆介	AIについて	
1008	13	2016	5	東京学習会	スイミー	すいみー	レオレオニ	教材分析	
1009	13	2016	5	c.実践研	よかったなあ	よかったなあ	まどみちお	変換	
1010	13	2016	5	c.実践研	生き物はつながりの中に	いきものはつながり	中村桂子	相補	

1011	13	2016	5 c.実践研	大人になれなかった弟た	おとなになれなかった	森澤真由子	二重視点ではない	
1012	13	2016	6 l.東京学習会	もうすぐ雨に	もうすぐあめに	森澤真由子	教材分析	
1013	13	2016	6 d.特講	オノレ・シュブラックの失脚	おのれしゅぶらつくの	森澤真由子	ファンタジー	二元論
1014	13	2016	6 d.特講	剣を鍛える話	けんをきたえるはなし	森澤真由子	ファンタジー	二元論
1015	13	2016	6 d.特講	雨月物語	うげつものがたり	森澤真由子	ファンタジー	二元論
1016	13	2016	7 l.東京学習会	力太郎	ちからたろう	森澤真由子	民話	
1017	13	2016	7 l.東京学習会	マーシャとくま	まーしゃとくま	森澤真由子	民話	
1018	13	2016	7 l.東京学習会	三年とうげ	さんねんとうげ	森澤真由子	民話	
1019	14	2016	8 n.職	x	x		社会の授業(井出さん)	
1020	14	2016	10 p.全国大学	x	x		AIについて	
1021	14	2016	12 l.東京学習会	くじらぐも	くじらぐも	中川幸枝子	教材分析	
1022	14	2016	12 c.実践研	わらぐつの中の神様	わらぐつの中なかのみさま	杉みき子	関連	
1023	14	2016	12 c.実践研	生き物はつながりの中に	いきものはつながりの	中村桂子	相補	
1024	14	2017	2 l.東京学習会	大人になれなかった弟た	おとなになれなかった	森澤真由子	教材分析	
1025	14	2017	2 n.職	x	x		思考ツール	
1026	14	2017	4 l.東京学習会	x	x		学級びらき	
1027	14	2017	5 l.東京学習会	白いぼうし	しろいぼうし	あまんきみこ	教材分析	
1028	14	2017	5 c.実践研	生き物はつながりの中に	いきものはつながりの	中村桂子	相補	
1029	14	2017	5 c.実践研	ありの行列	ありのぎょうれつ	森澤真由子	教材解釈	
1030	14	2017	5 c.実践研	レモン寂歌	れもんあいか	森澤真由子	教材解釈	
1031	14	2017	5 p.全国大学	x	x		新指導要領	
1032	14	2017	6 l.東京学習会	おおきなかぶ	おおきなかぶ	森澤真由子	教材分析	
1033	14	2017	6 l.東京学習会	たんぼほのちえ	たんぼほのちえ	森澤真由子	教材分析	